

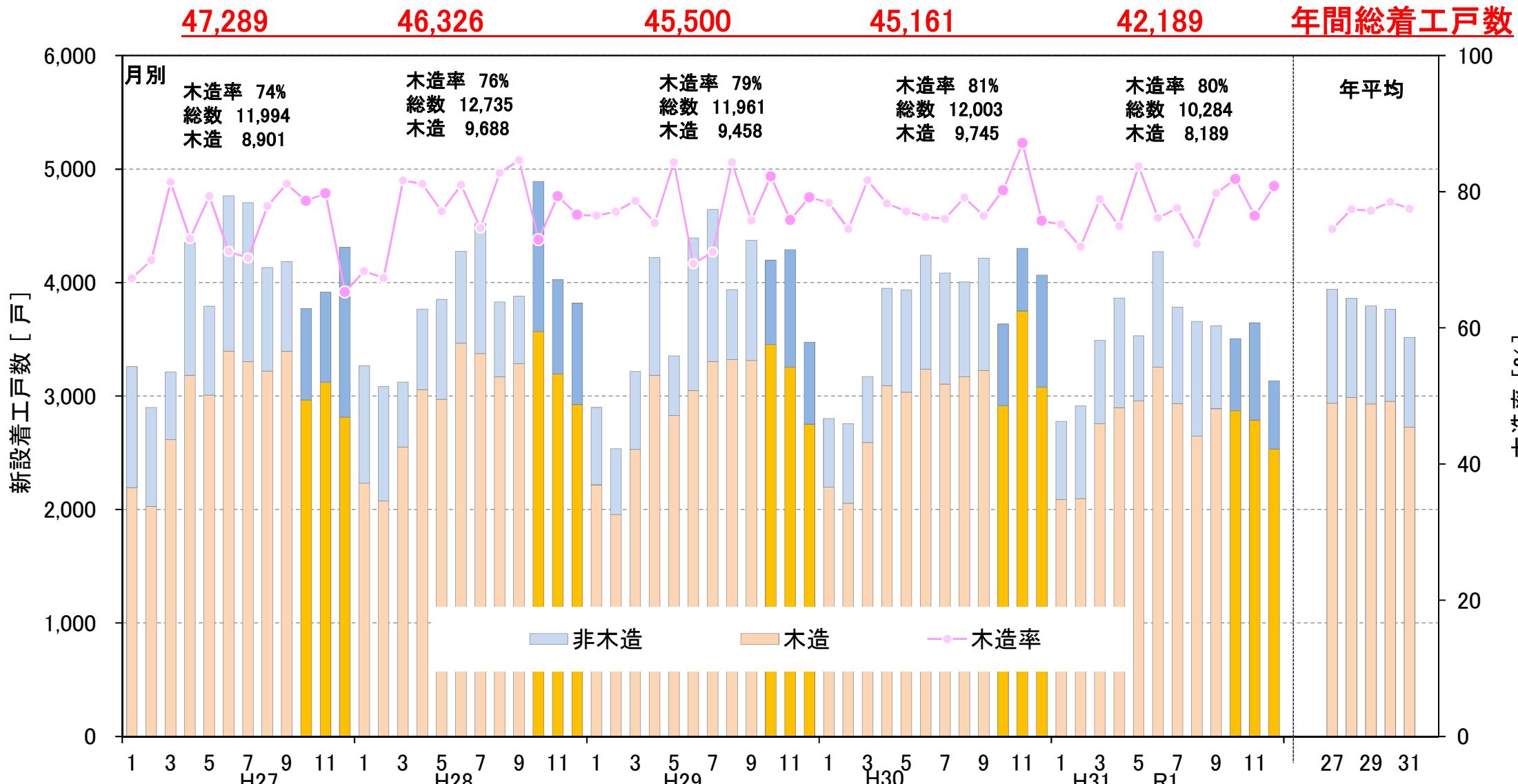
東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

令和2年2月20日(木)

東北森林管理局

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

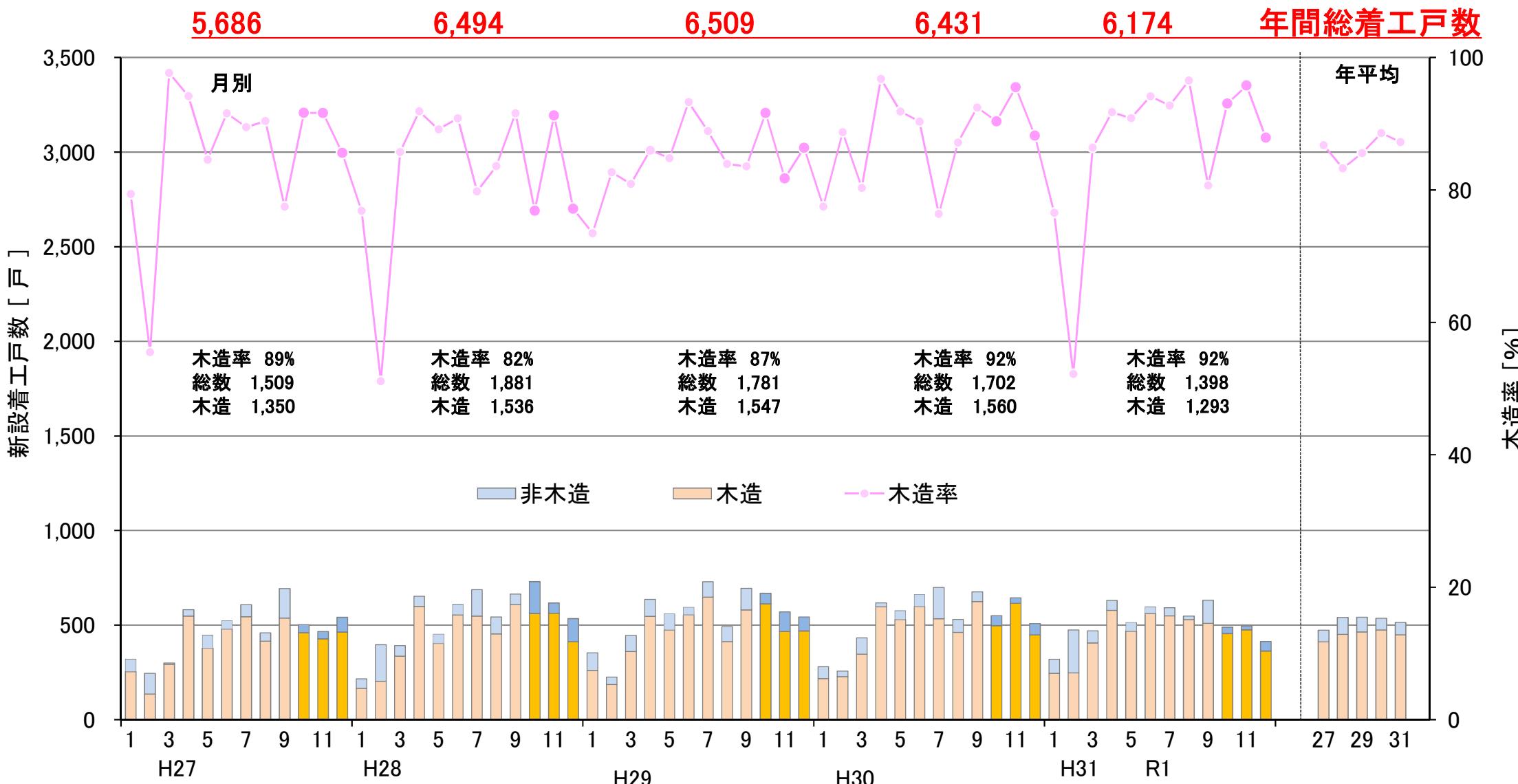
- 東北5県の令和元年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より1,719戸減少した。
この期間の木造は昨年同期より1,556戸減少し、木造率は1%減少した。
- 東北5県の令和元年の新設住宅着工戸数は42,189戸で昨年より2,972戸減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 青森県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

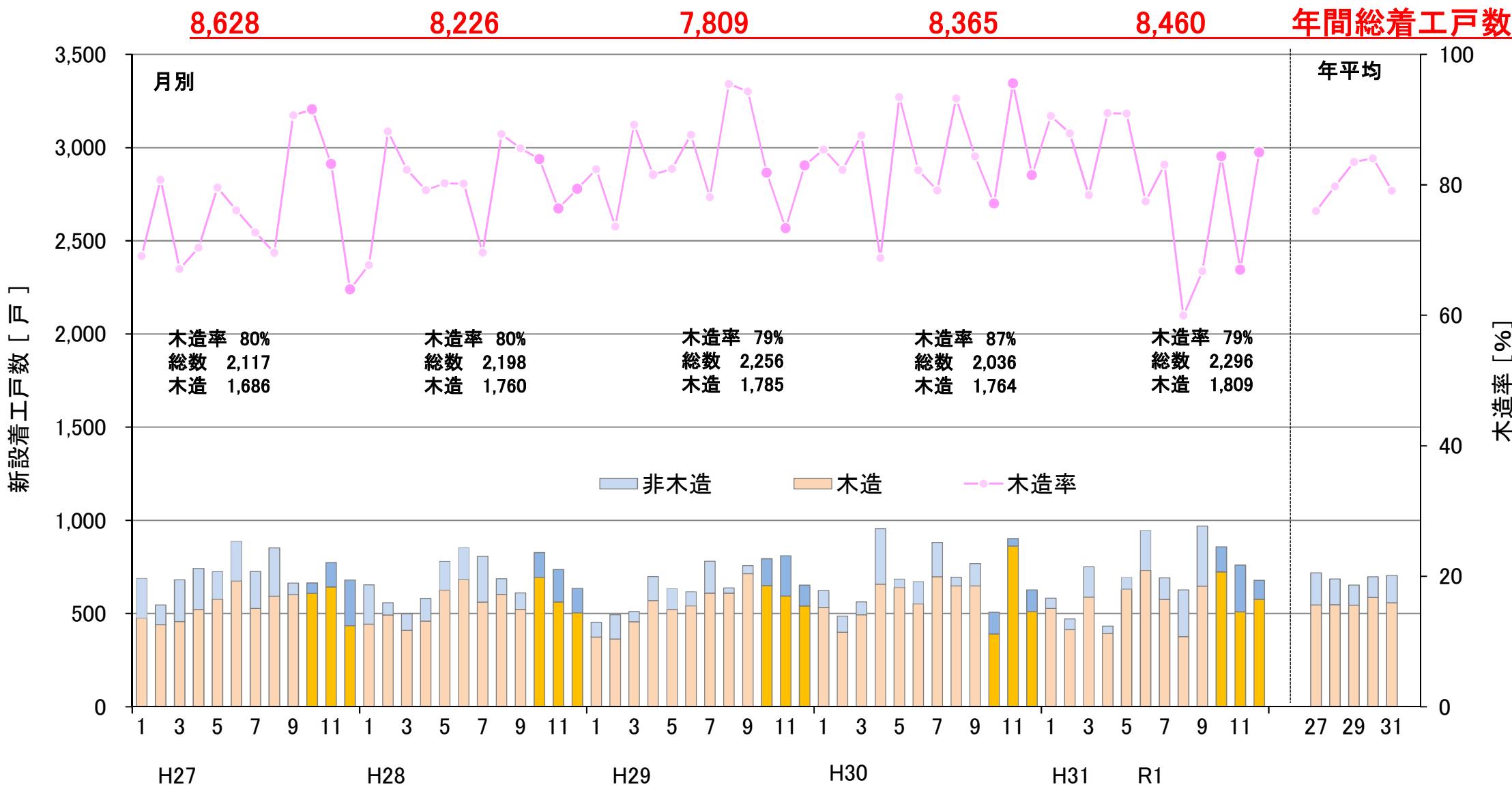
- 青森県の令和元年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より304戸減少した。この期間の木造は昨年同期より267戸減少し、木造率に変化はなかった。
 - 青森県の令和元年の新設住宅着工戸数は6,174戸で昨年より257戸減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

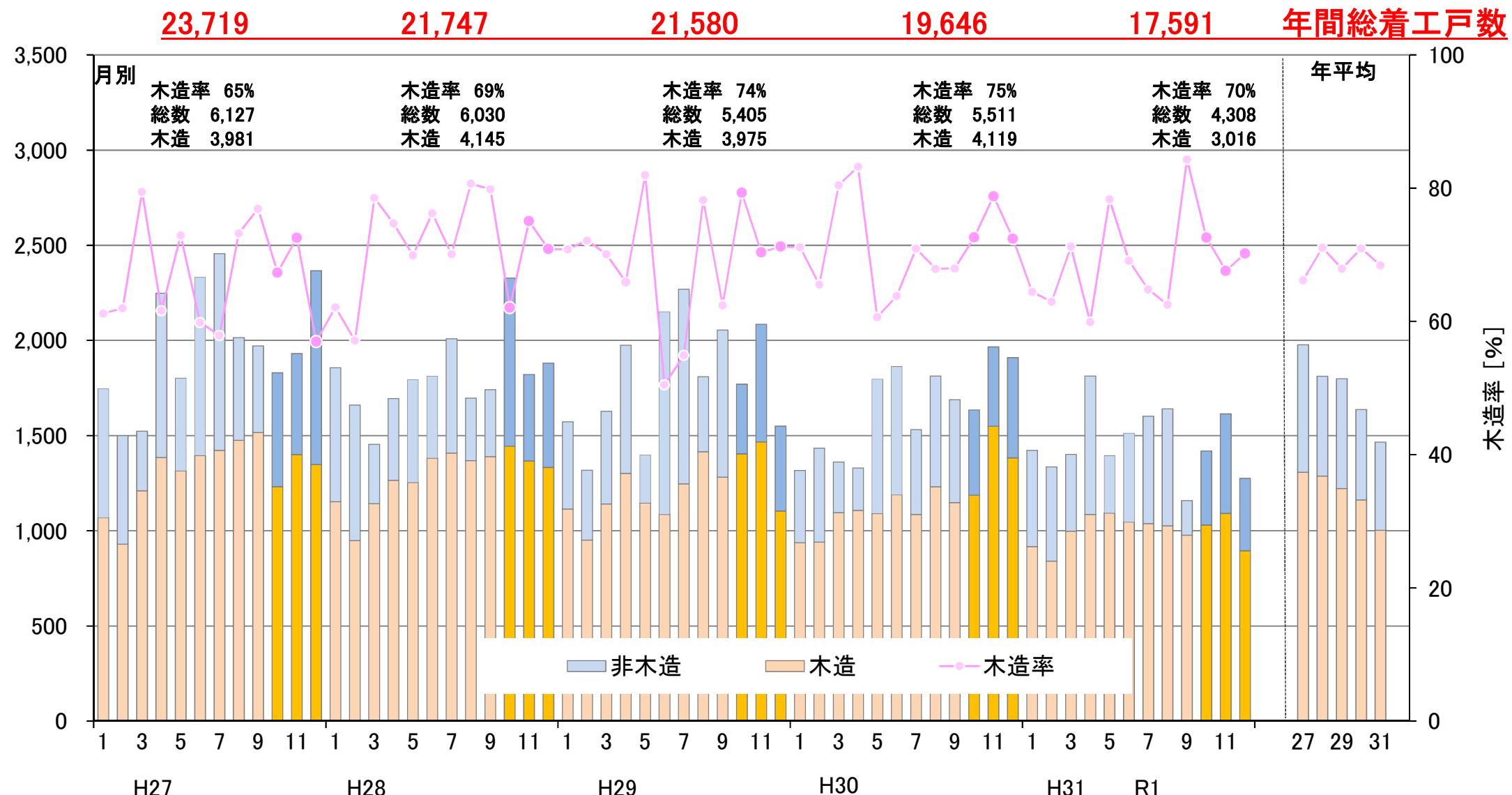
■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 岩手県の令和元年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より260戸増加した。
この期間の木造は昨年同期より45戸増加し、木造率は8%減少した。
- 岩手県の令和元年の新設住宅着工戸数は8,460戸で昨年より95戸増加した。



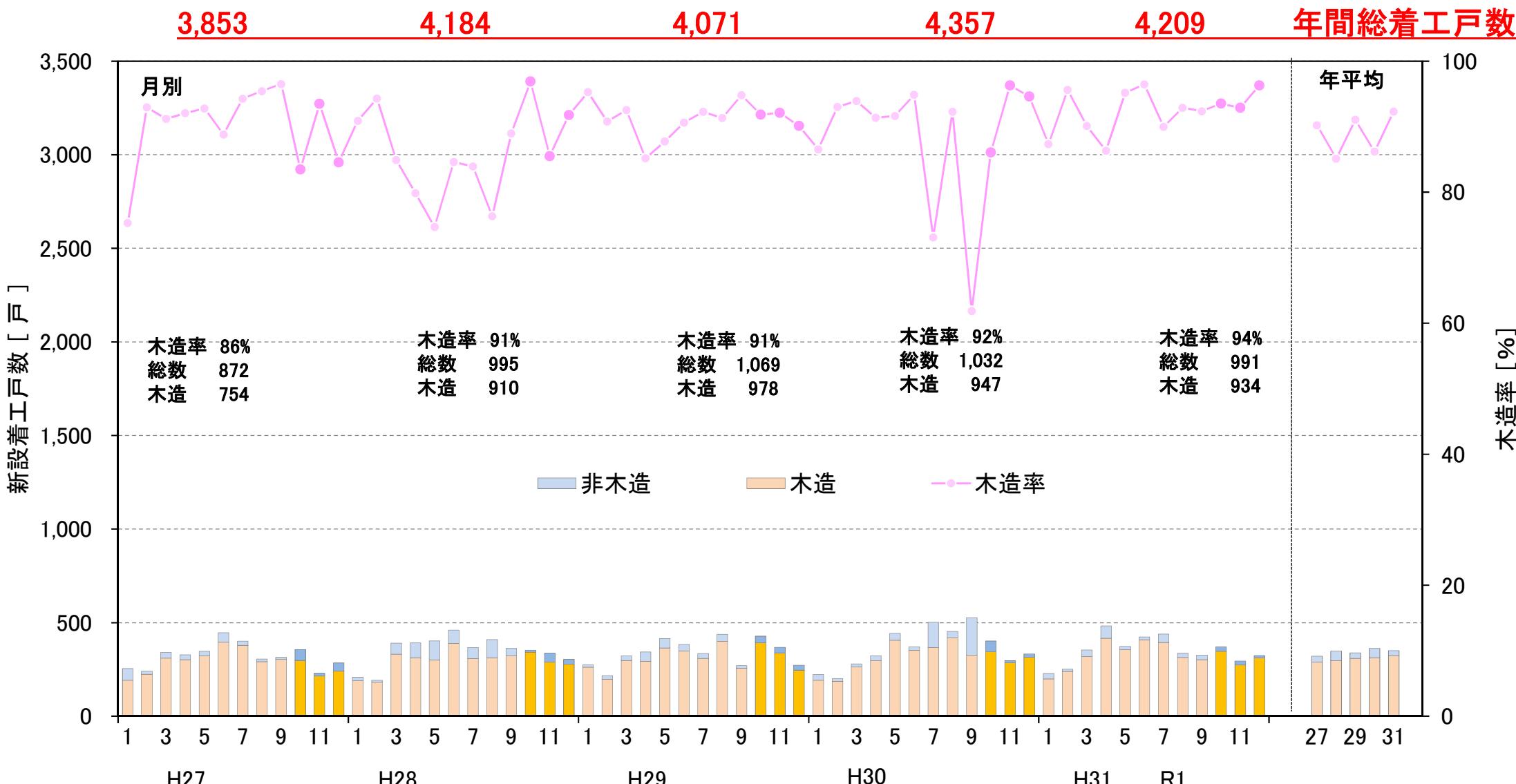
■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 宮城県の令和元年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より1,203戸減少した。
この期間の木造は昨年同期より1,103戸減少し、木造率は5%減少した。
- 宮城県の令和元年の新設住宅着工戸数は17,591戸で昨年より2,055戸減少した。



■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

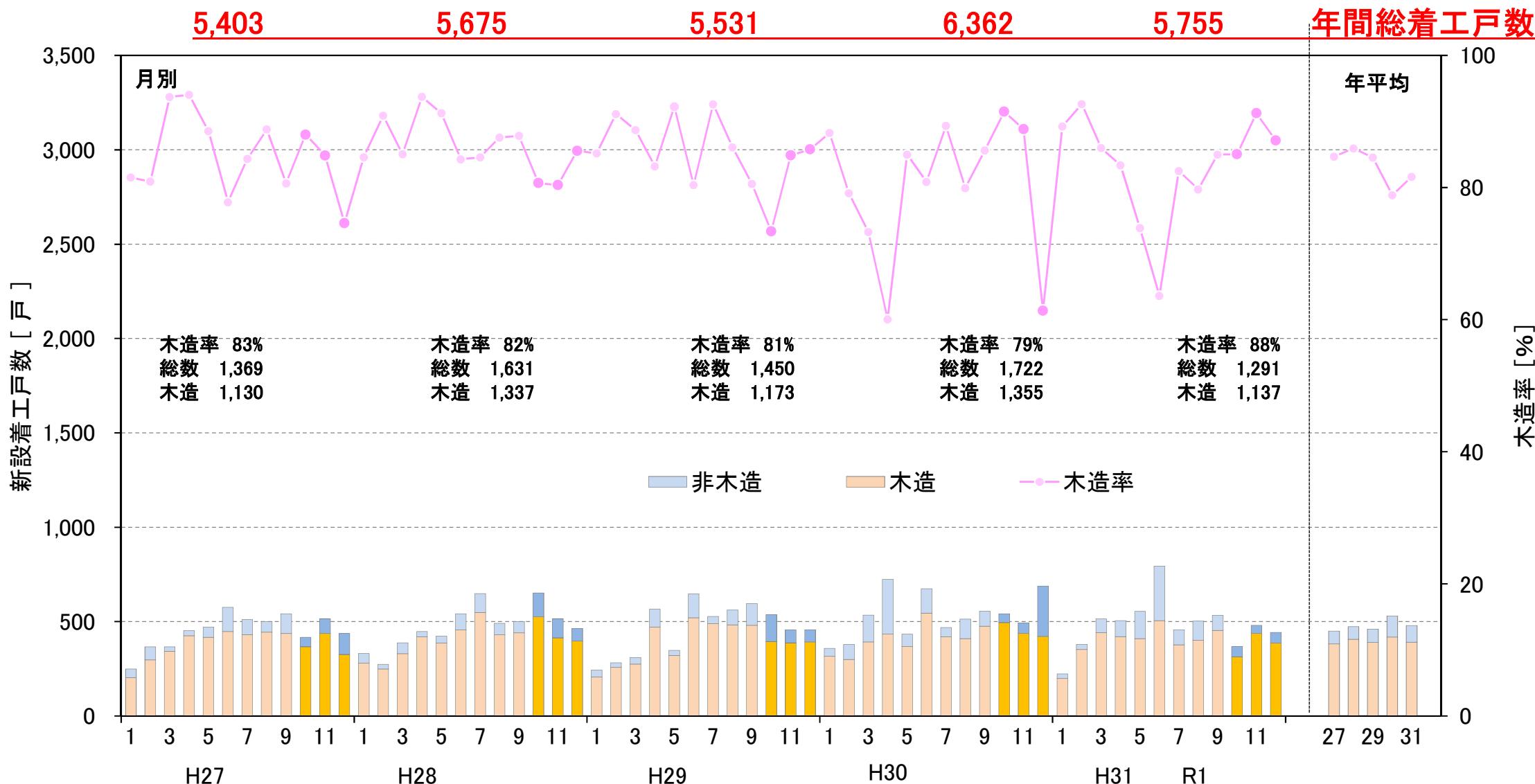
- 秋田県の令和元年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より41戸減少した。
この期間の木造は昨年同期より13戸減少し、木造率は2%増加した。
 - 秋田県の令和元年の新設住宅着工戸数は4,209戸で昨年より148戸減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計

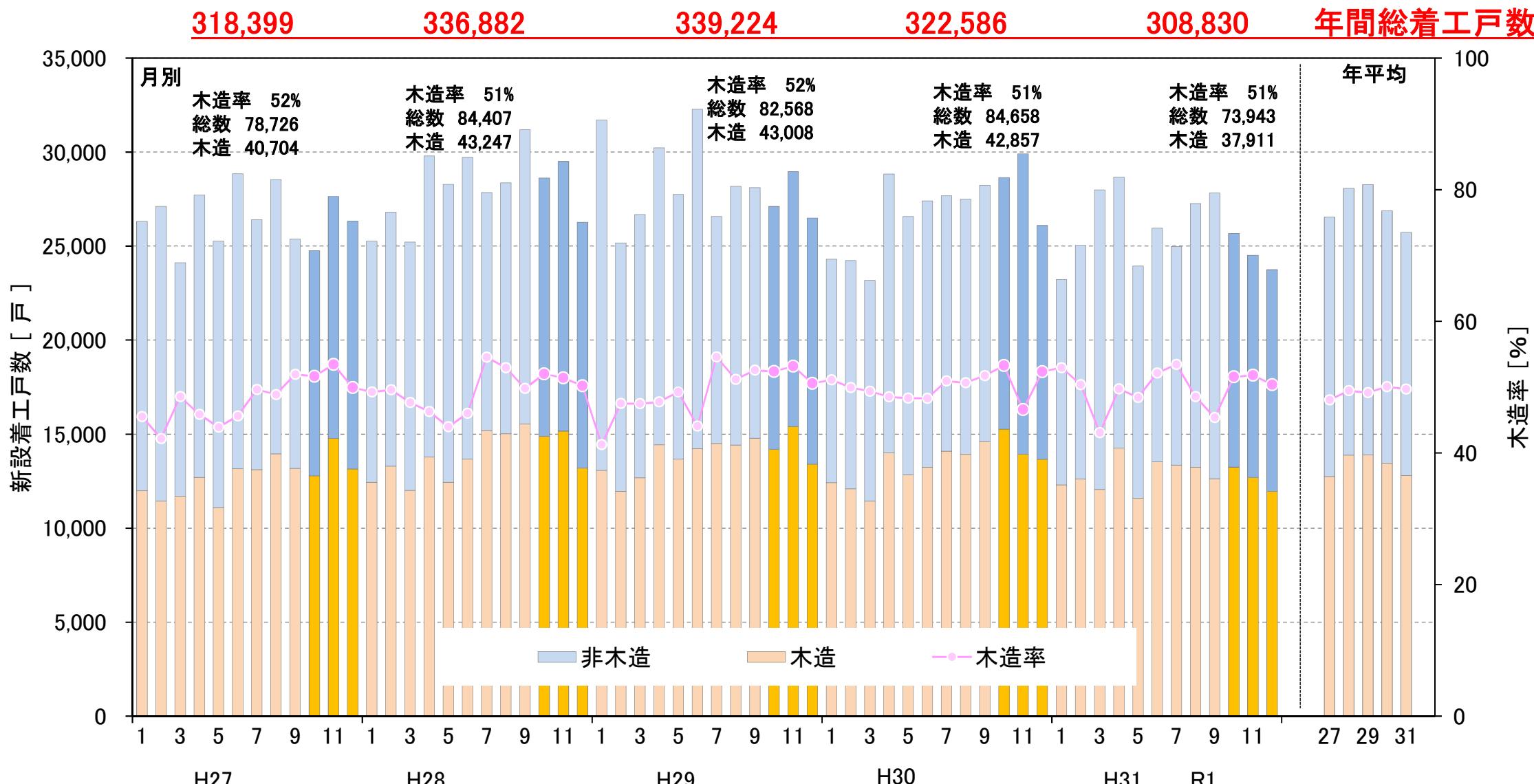
■ 山形県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 山形県の令和元年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より431戸減少した。
この期間の木造は昨年同期より218戸減少し、木造率は9%増加した。
- 山形県の令和元年の新設住宅着工戸数は5,755戸で昨年より607戸減少した。



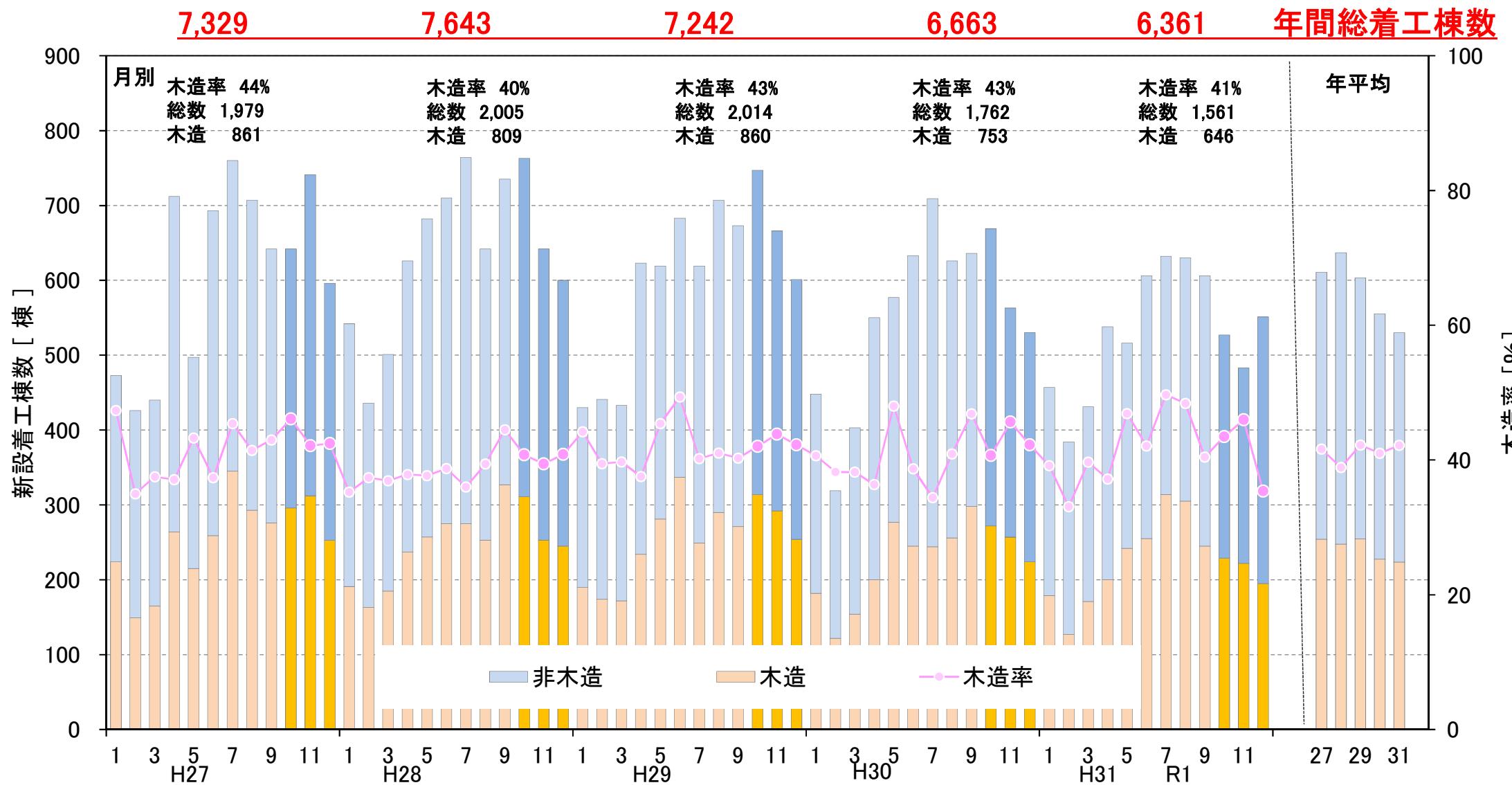
■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 関東主要都市の令和元年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より10,715戸減少した。この期間の木造は昨年同期より4,946戸減少し、木造率に変化はなかった。
- 関東主要都市の令和元年の新設住宅着工戸数は308,830戸で昨年より13,756戸減少した。



■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工棟数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

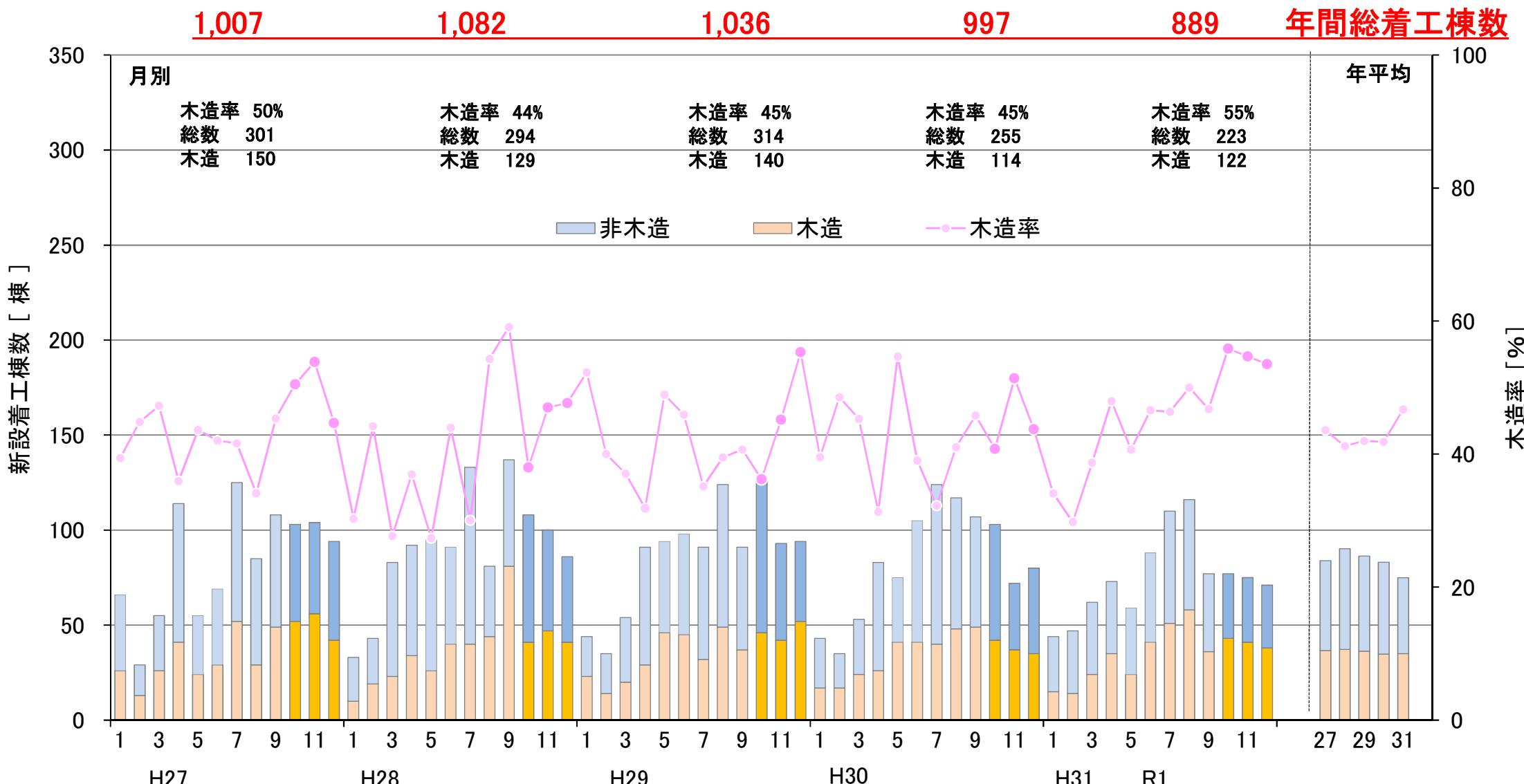
- 東北5県の令和元年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より201棟減少した。この期間の木造は昨年同期より107棟減少し、木造率は2%減少した。
 - 東北5県の令和元年の新設産業用建築物着工棟数は6,361棟で昨年より302棟減少した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

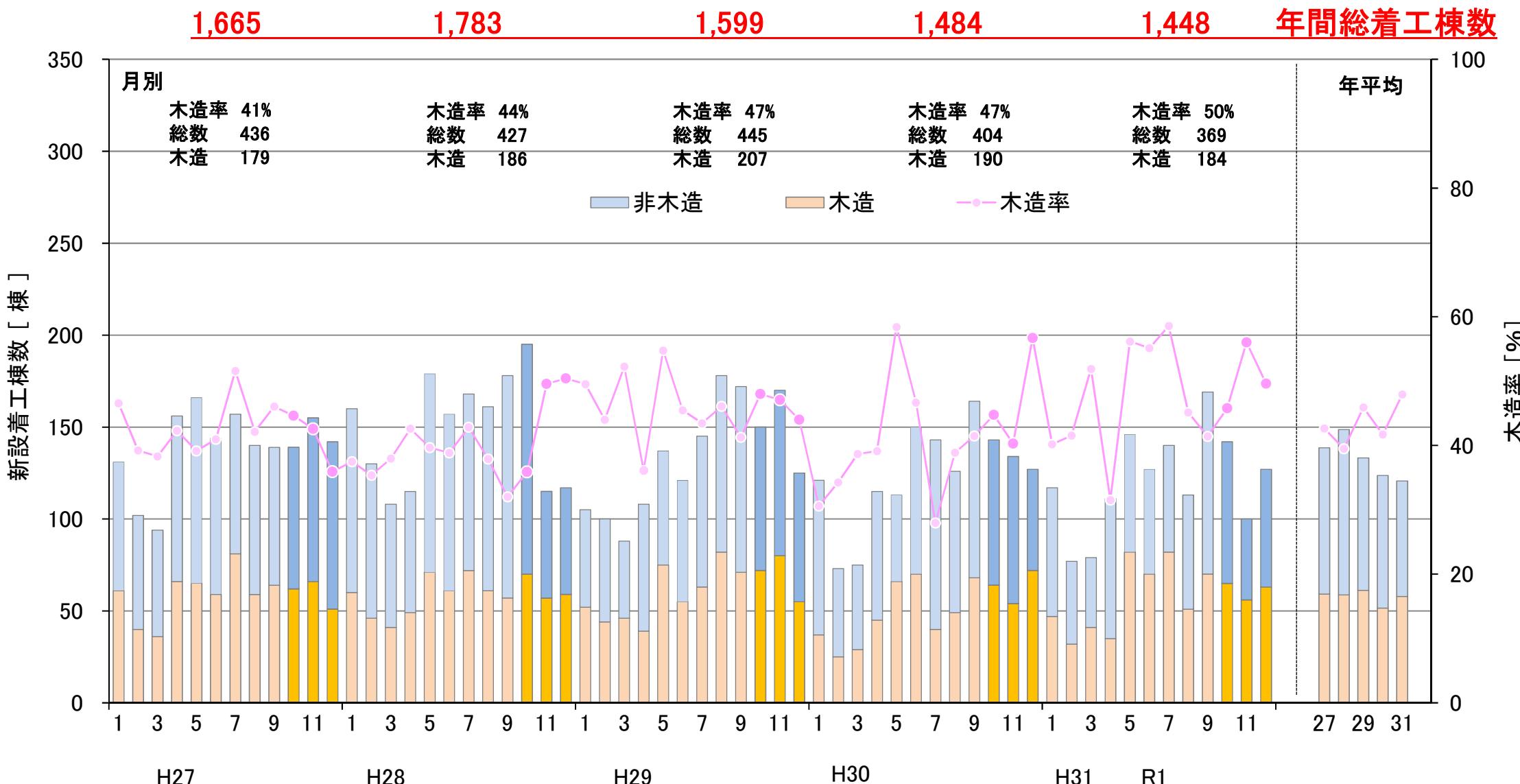
■ 青森県の新設産業用建築物着工棟数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 青森県の令和元年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より32棟減少した。
この期間の木造は昨年同期より8棟増加し、木造率は10%増加した。
- 青森県の令和元年の新設産業用建築物着工棟数は889棟で昨年より108棟減少した。



■ 岩手県の新設産業用建築物着工棟数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

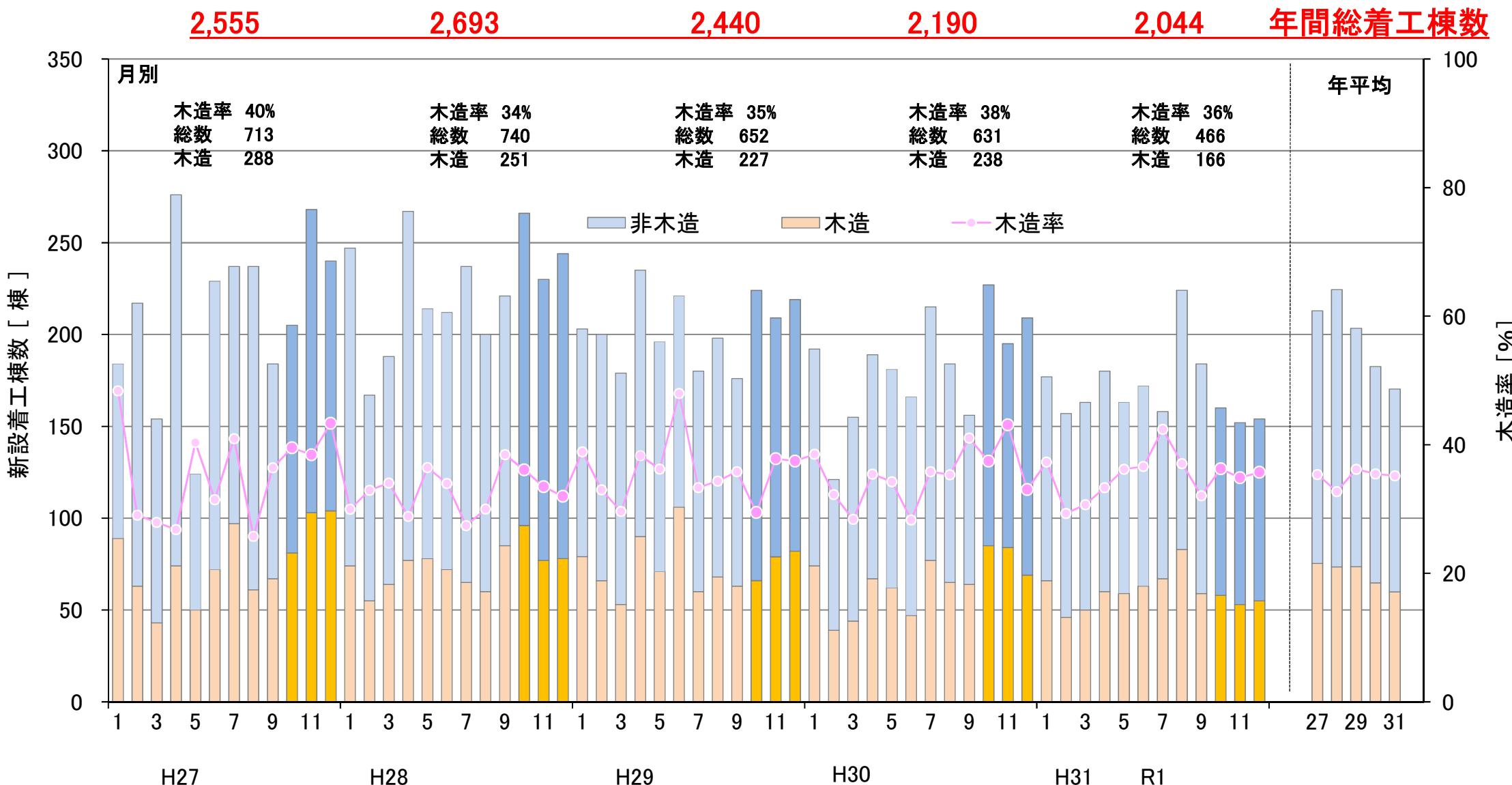
- 岩手県の令和元年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より35棟減少した。この期間の木造は昨年同期より6棟減少し、木造率は3%増加した。
 - 岩手県の令和元年の新設産業用建築物着工棟数は1,448棟で昨年より36棟減少した。



出典：国土交通省「建築着工統計

■ 宮城県の新設産業用建築物着工棟数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

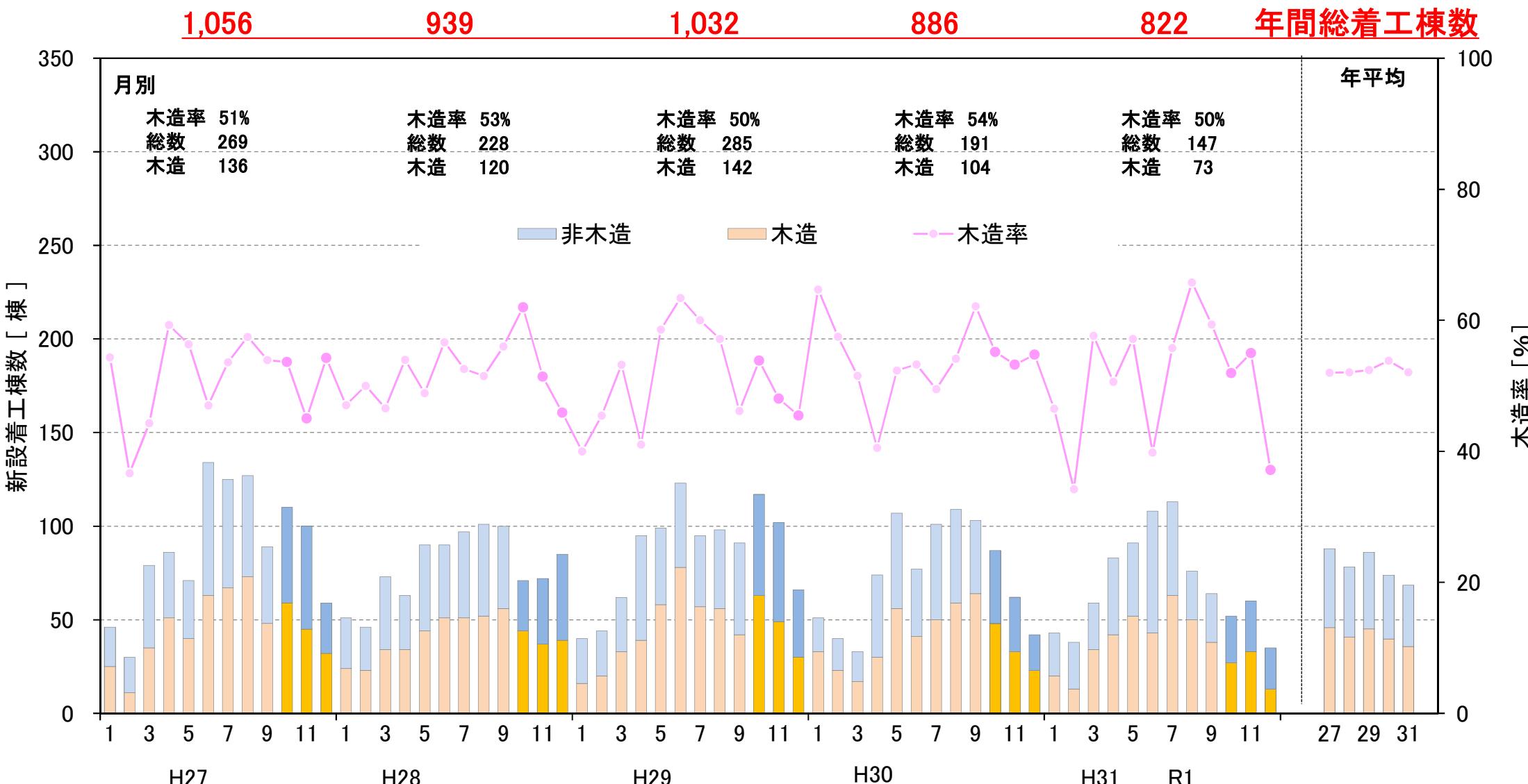
- 宮城県の令和元年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より165棟減少した。
この期間の木造は昨年同期より72棟減少し、木造率は2%減少した。
 - 宮城県の令和元年の新設産業用建築物着工棟数は2,044棟で昨年より146棟減少した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

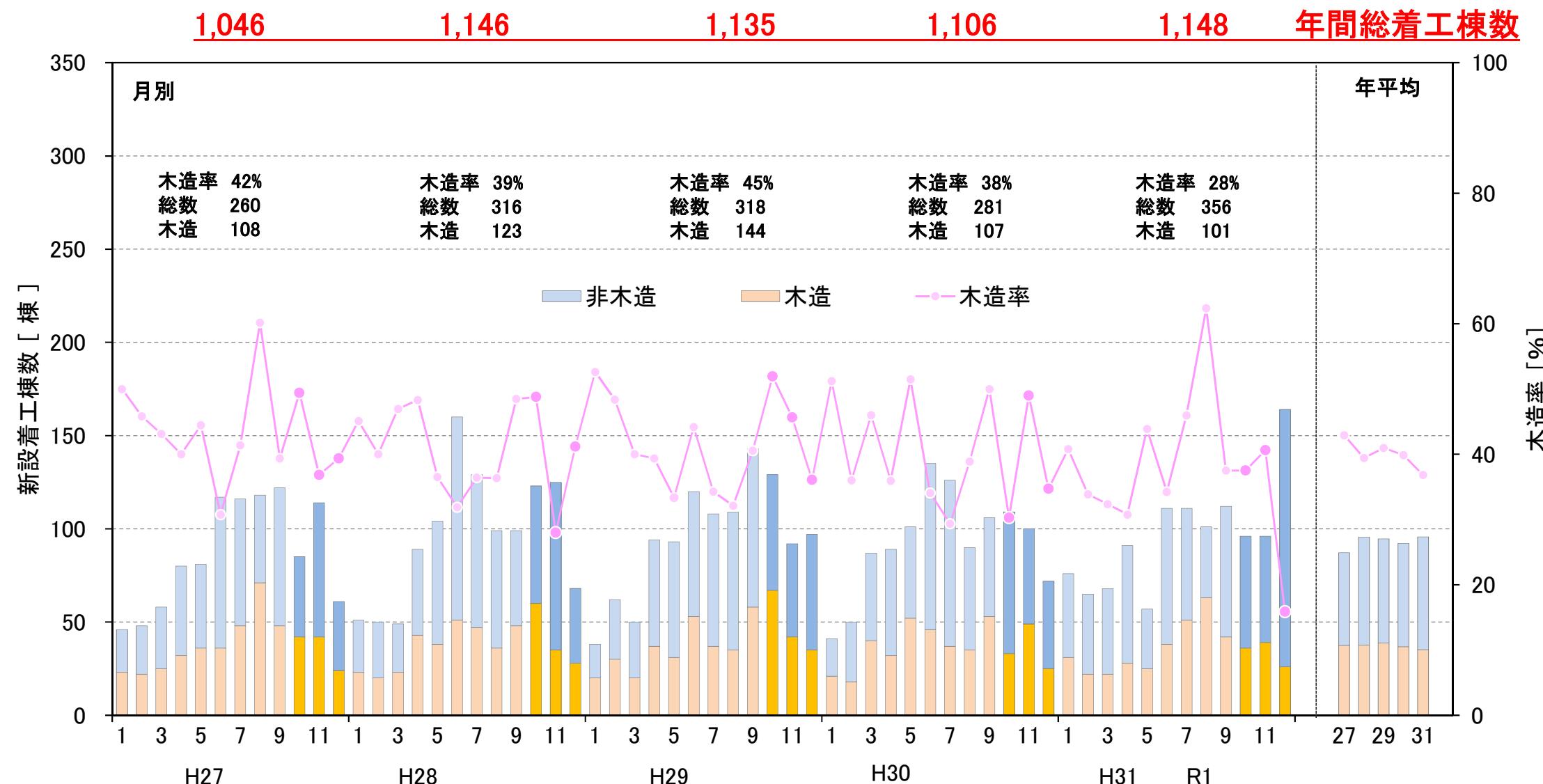
■ 秋田県の新設産業用建築物着工棟数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 秋田県の令和元年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より44棟減少した。
この期間の木造は昨年同期より31棟減少し、木造率は4%減少した。
- 秋田県の令和元年の新設産業用建築物着工棟数は822棟で昨年より64棟減少した。



■ 山形県の新設産業用建築物着工棟数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

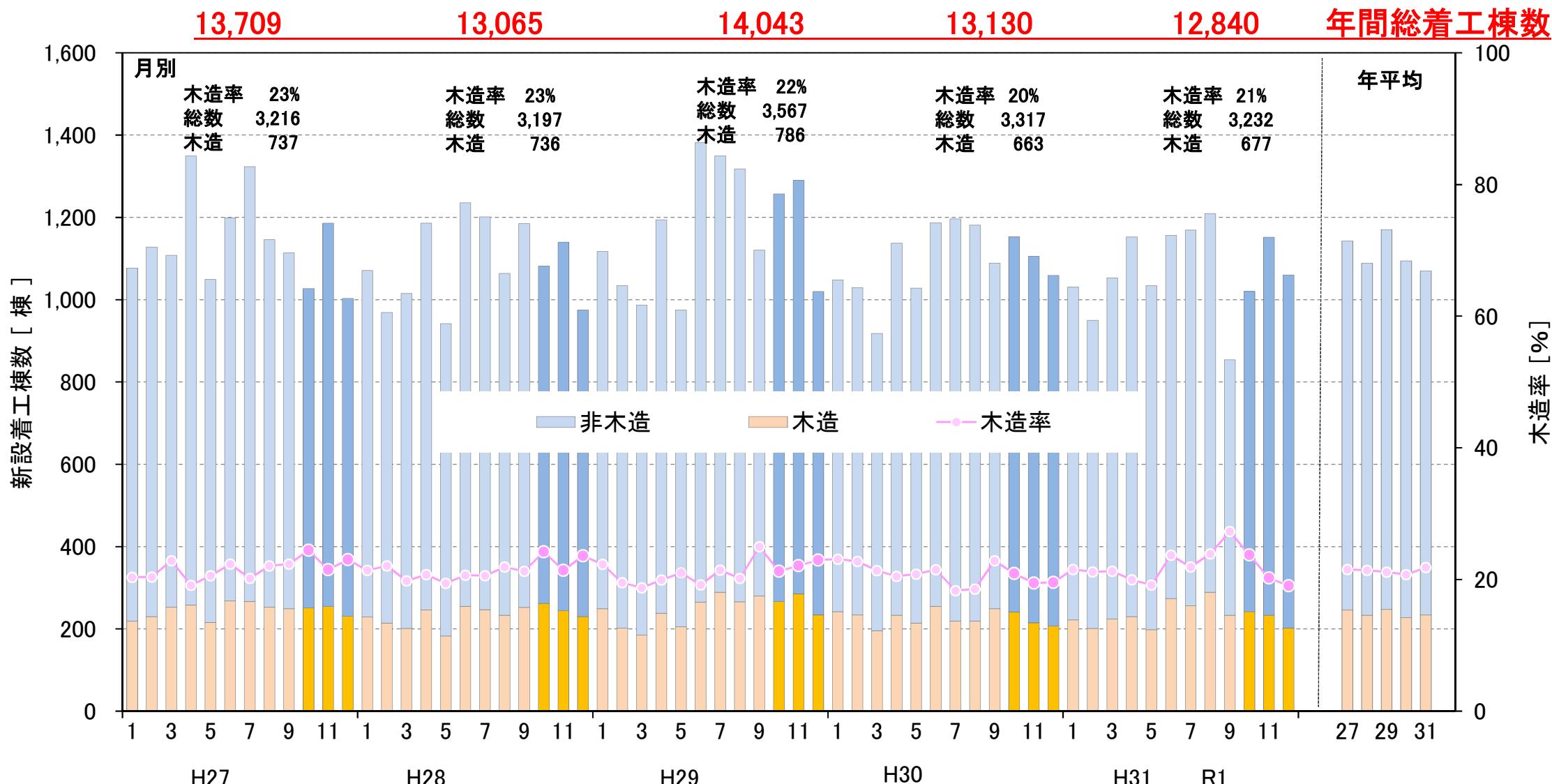
- 山形県の令和元年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より75棟増加した。
この期間の木造は昨年同期より6棟減少し、木造率は10%減少した。
 - 山形県の令和元年の新設産業用建築物着工棟数は1,148棟で昨年より42棟増加した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工棟数の推移(平成27年1月～令和元年12月)

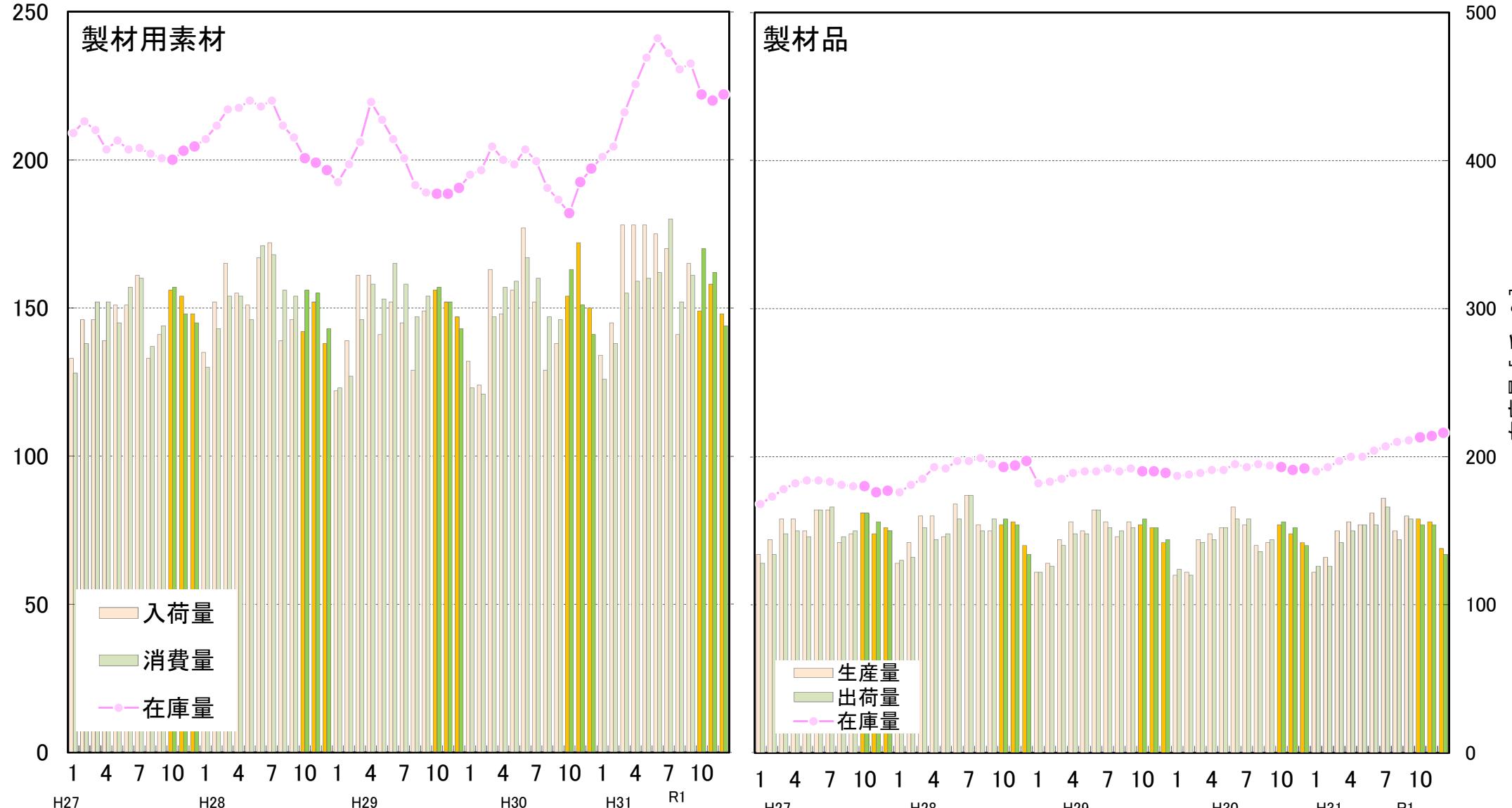
- 関東主要都市の令和元年10～12月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より85棟減少した。
この期間の木造は昨年同期より14棟増加し、木造率は1%増加した。
 - 関東主要都市の令和元年の新設産業用建築物着工棟数は12,840棟で昨年より290棟減少した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 製材用素材の令和元年10～12月の入荷量は昨年同期比−4%、消費量は+5%、在庫量は12月比+13%。
- 製材品の令和元年10～12月の生産量は昨年同期比+2%、出荷量は−1%、在庫量は12月比+13%。

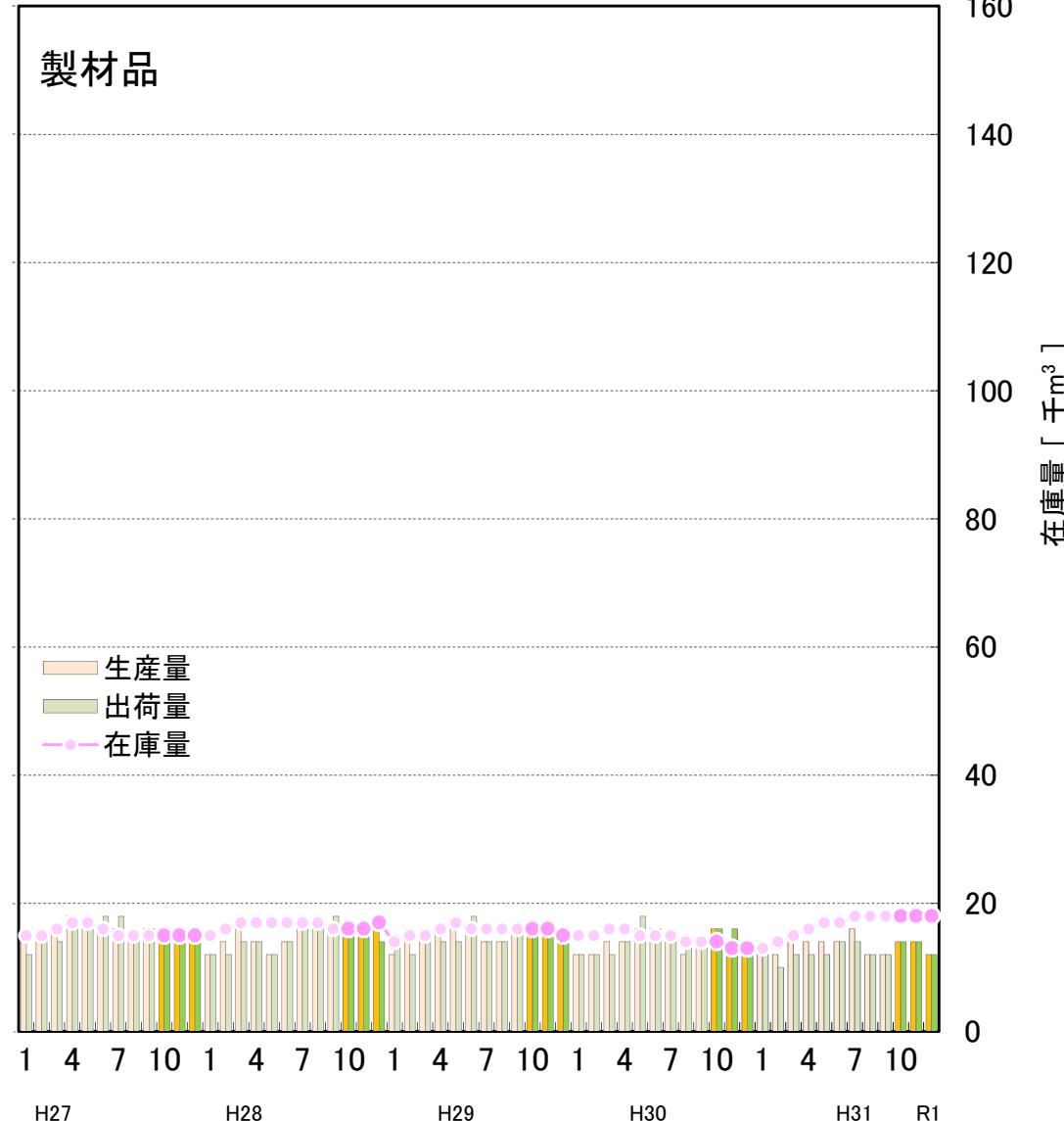
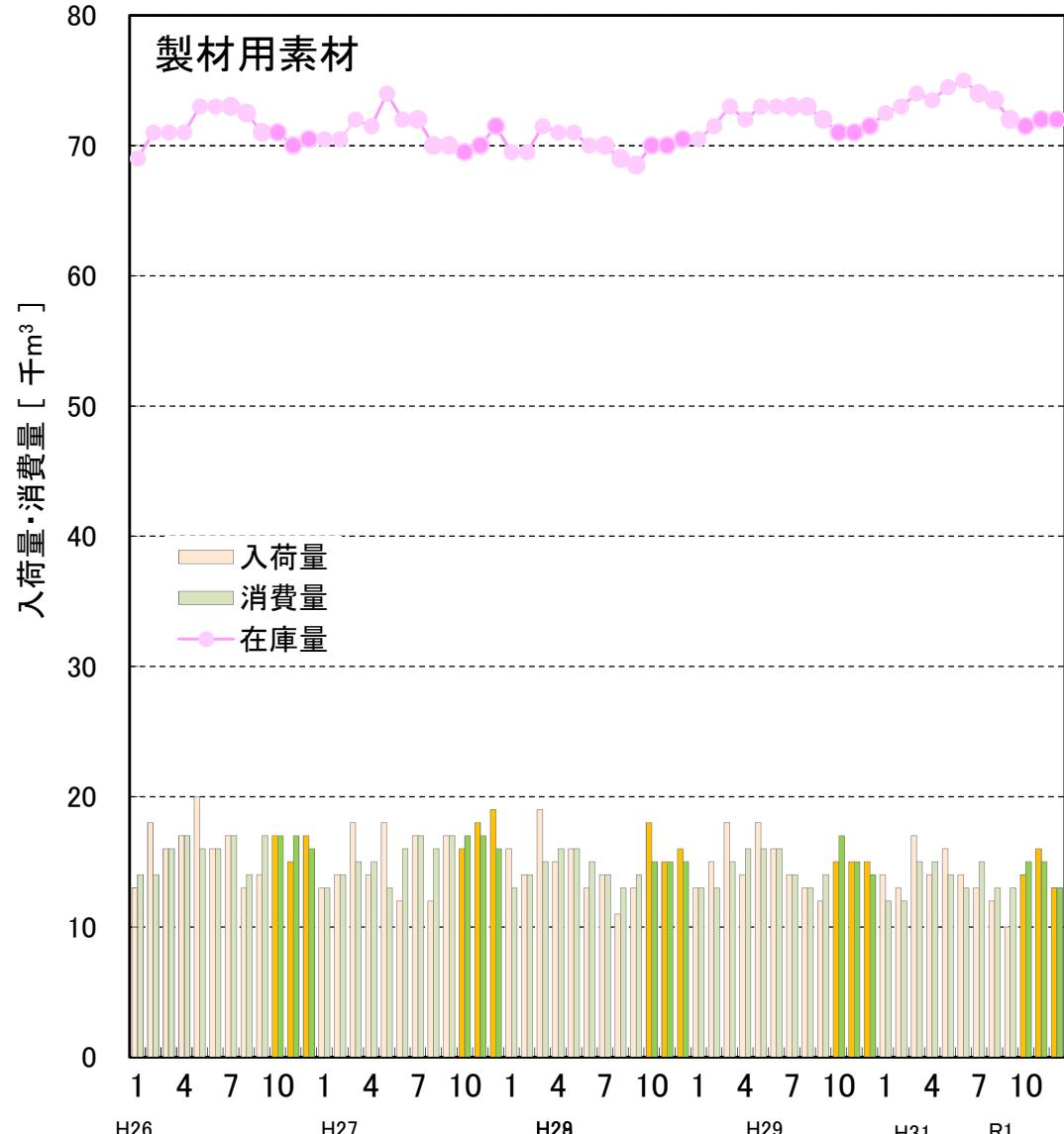


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

■ 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 製材用素材の令和元年10～12月の入荷量は昨年同期比−4%、消費量は−7%、在庫量は12月比+1%。
 - 製成品の令和元年10～12月の生産量は昨年同期比−9%、出荷量は−13%、在庫量は12月比+38%。

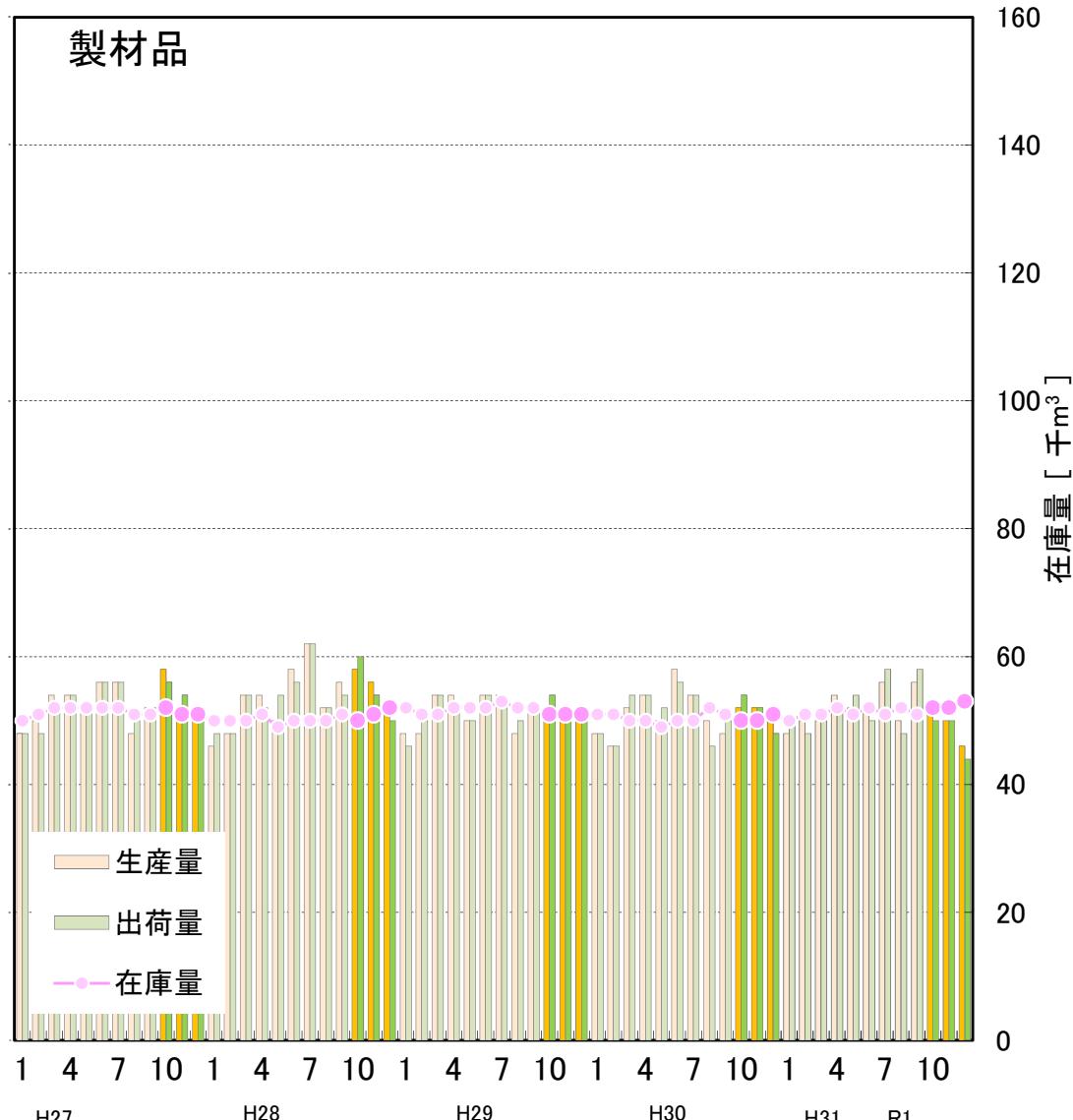
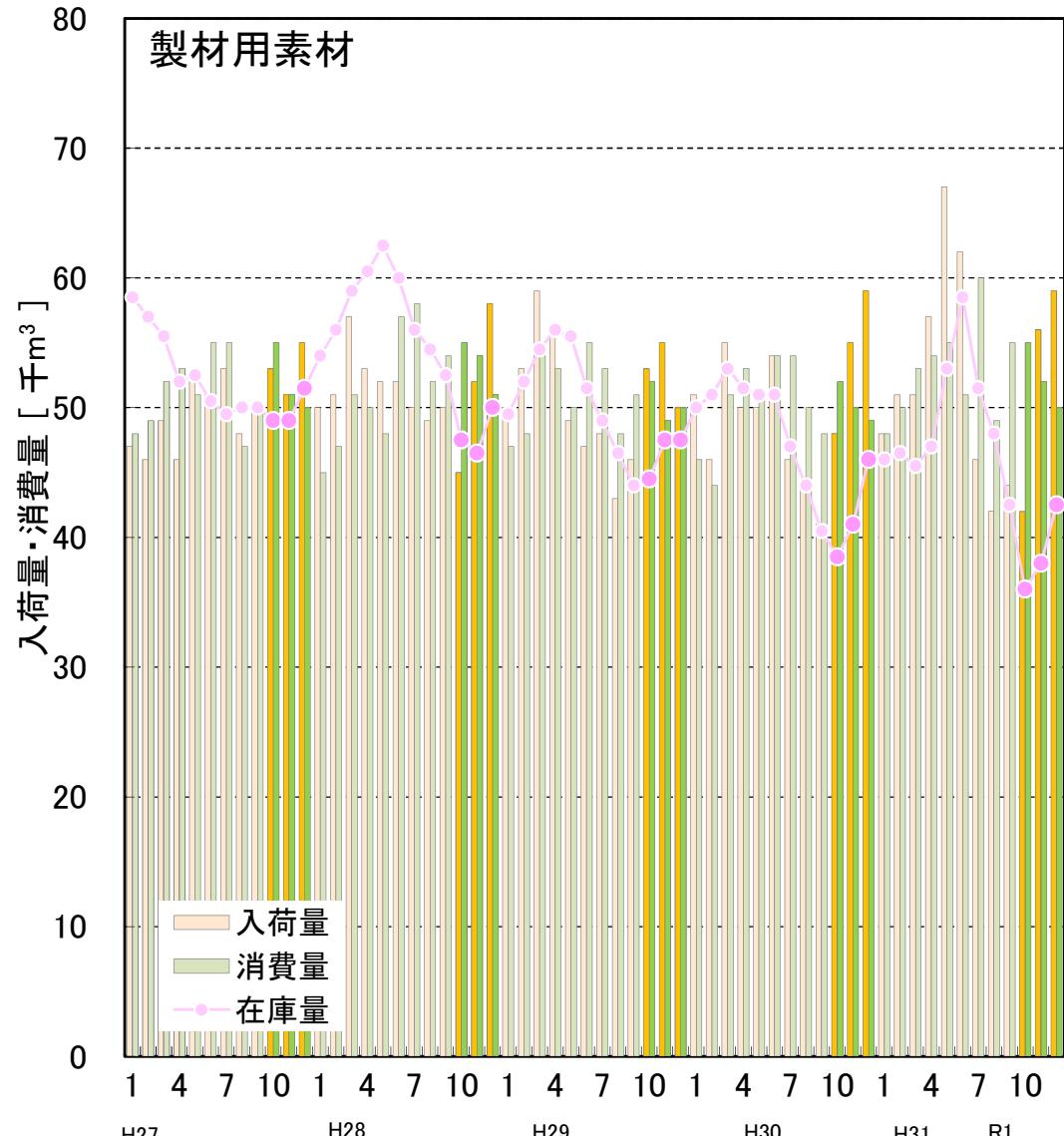


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 製材用素材の令和元年10～12月の入荷量は昨年同期比−3%、消費量は+4%、在庫量は12月比−8%。
- 製材品の令和元年10～12月の生産量は昨年同期比−4%、出荷量は−6%、在庫量は12月比+4%。

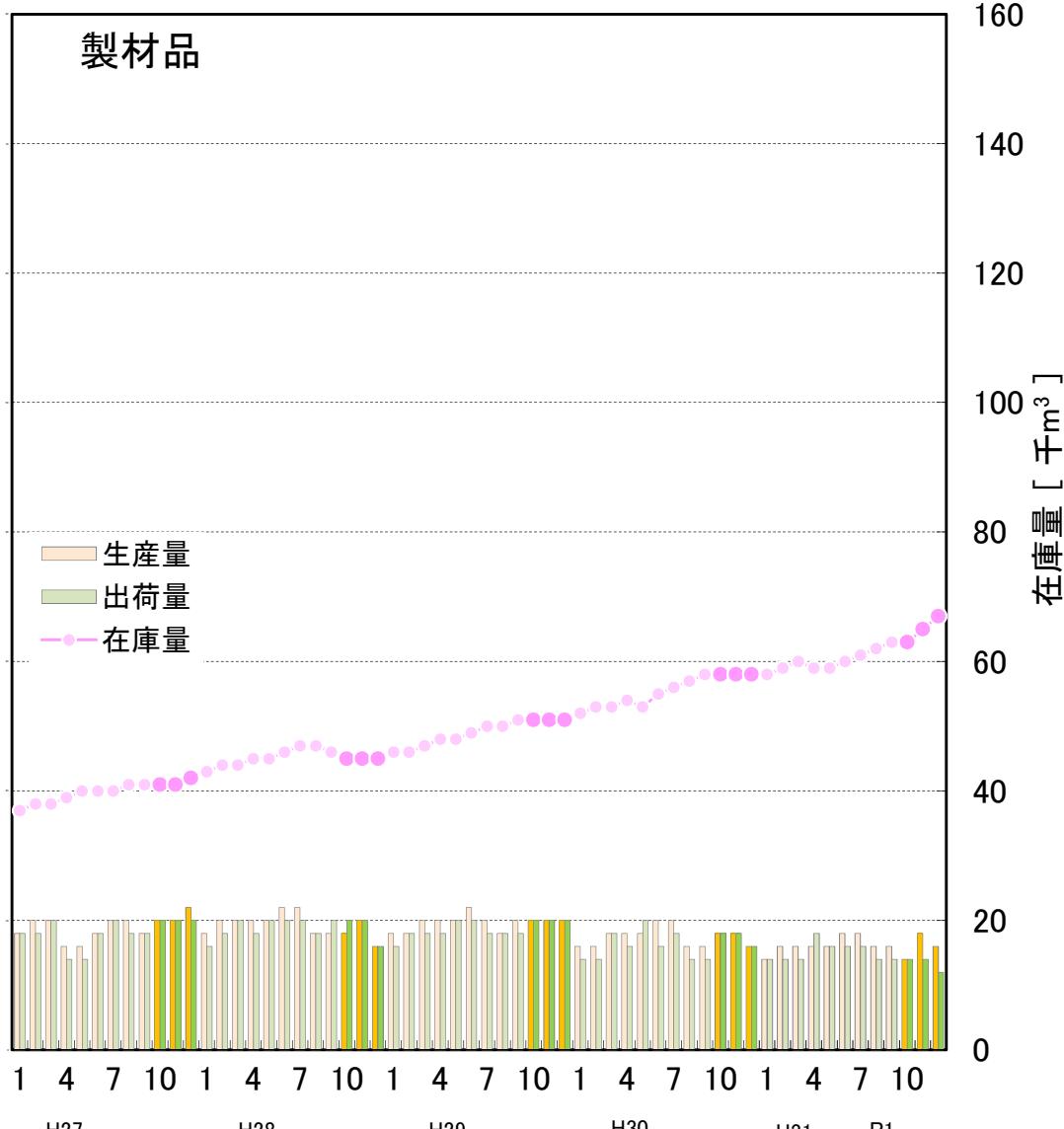
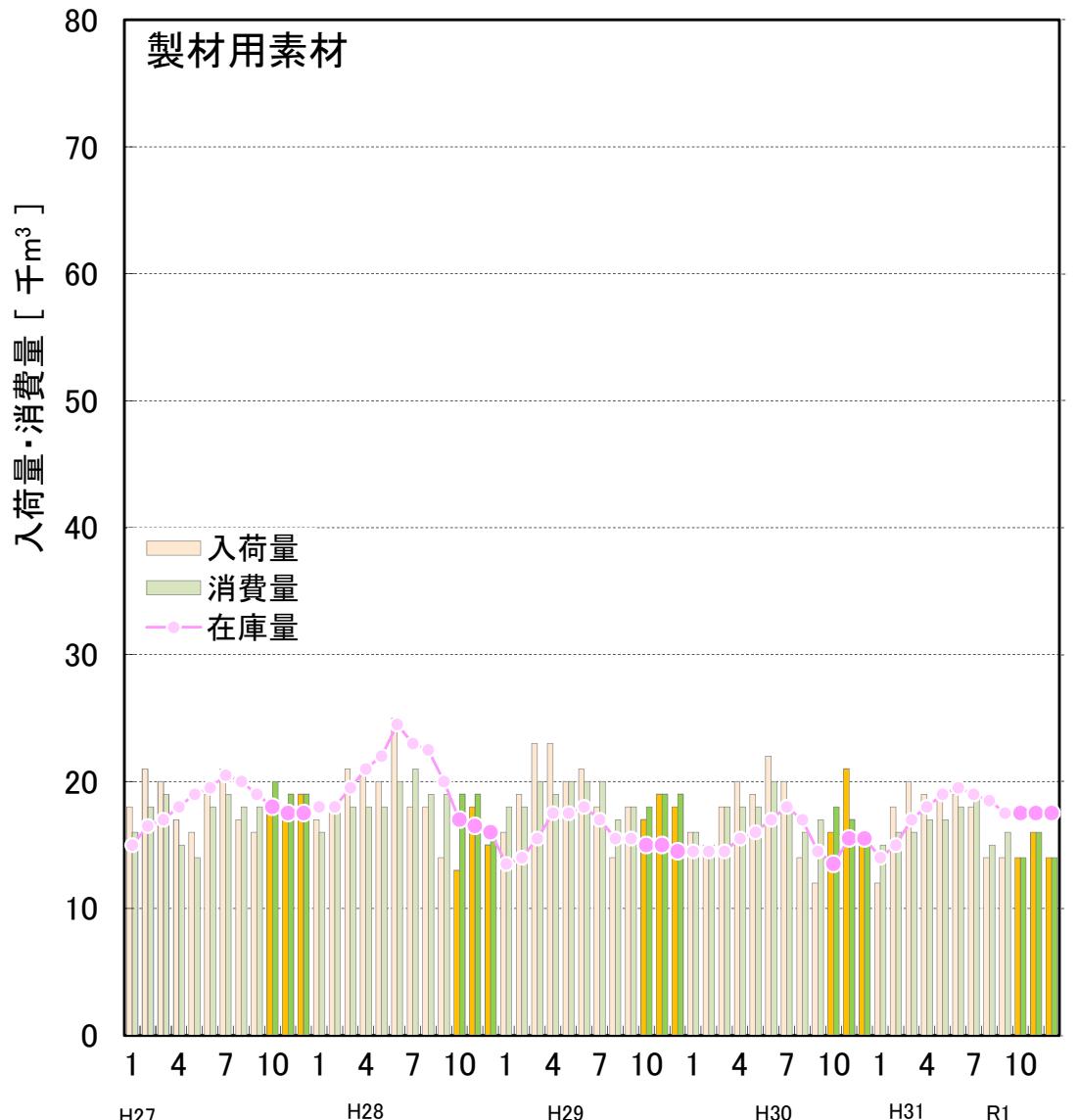


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

■ 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 製材用素材の令和元年10～12月の入荷量は昨年同期比-17%、消費量は-14%、在庫量は12月比+13%。
- 製成品の令和元年度10～12月の生産量は昨年同期比-8%、出荷量は-23%、在庫量は12月比+16%。

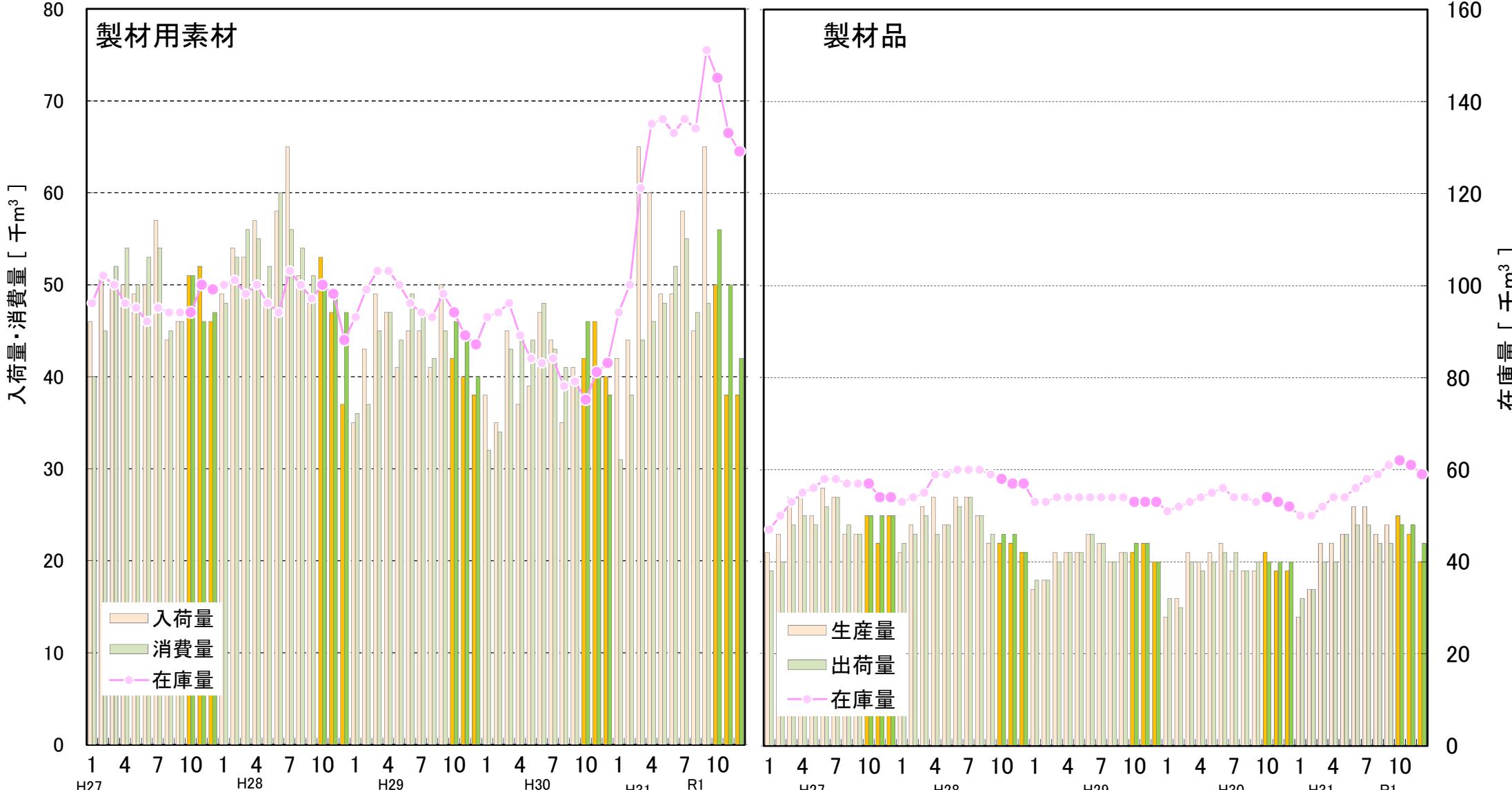


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 製材用素材の令和元年10～12月の入荷量は昨年同期比−2%、消費量は+19%、在庫量は12月比+55%。
- 製材品の令和元年10～12月の生産量は昨年同期比+15%、出荷量は+17%、在庫量は9月比+13%。

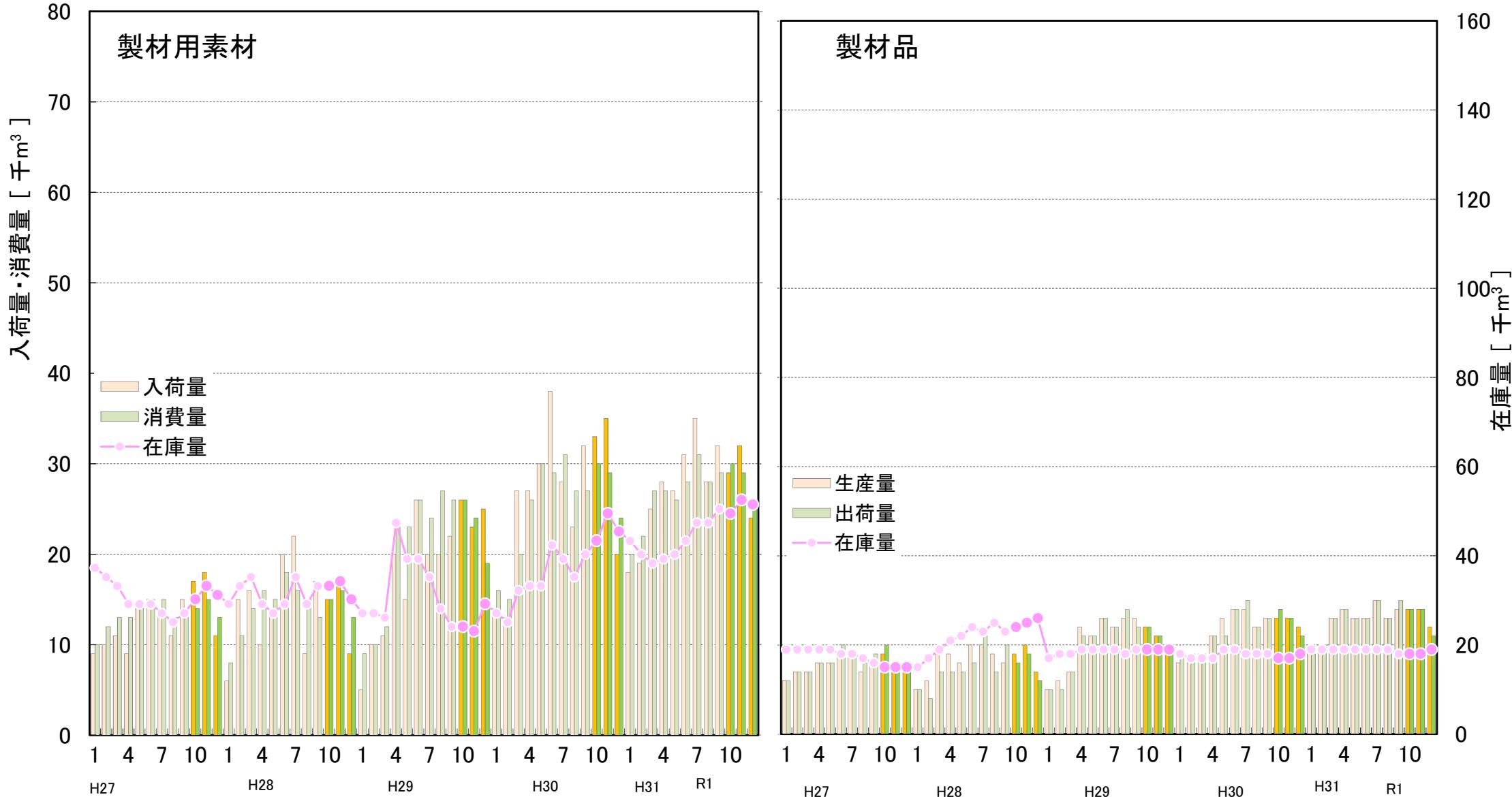


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

■ 山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 製材用素材の令和元年10～12月の入荷量は昨年同期比−3%、消費量は+1%、在庫量は12月比+13%。
- 製材品の令和元年10～12月の生産量は昨年同期比+5%、出荷量は+3%、在庫量は12月比+6%。

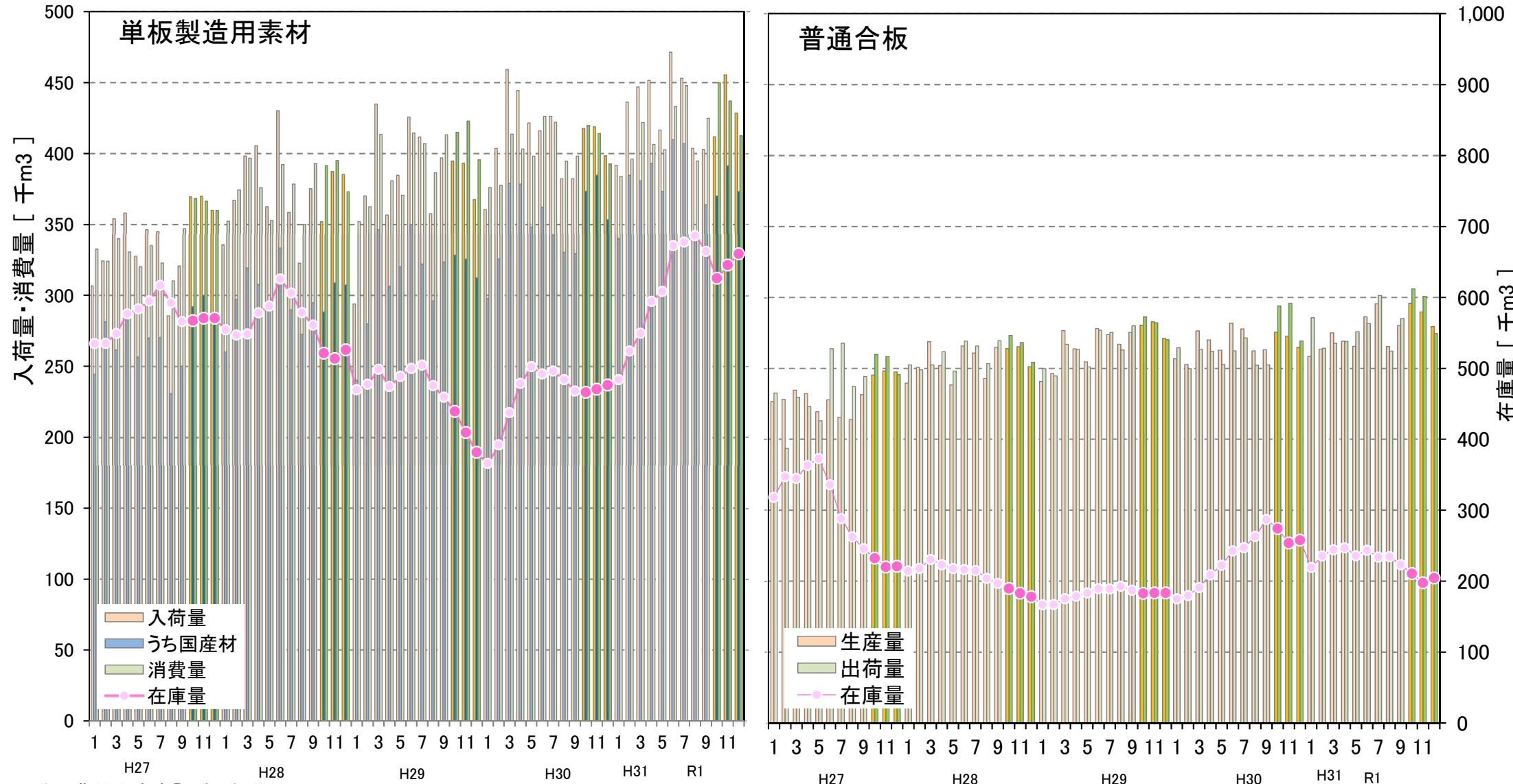


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

■ 全国の単板製造用素材・普通合板の入荷量等の推移(平成27年1月～令和元年12月)

- 単板製材用素材の令和元年10～12月期の入荷量は昨年同期比+5%、うち国産材は+2%、消費量は+6%、在庫量は12月比+39%。
- 普通合板の令和元年10～12月期の生産量は昨年同期比+6%、出荷量は+3%、在庫量は12月比-21%



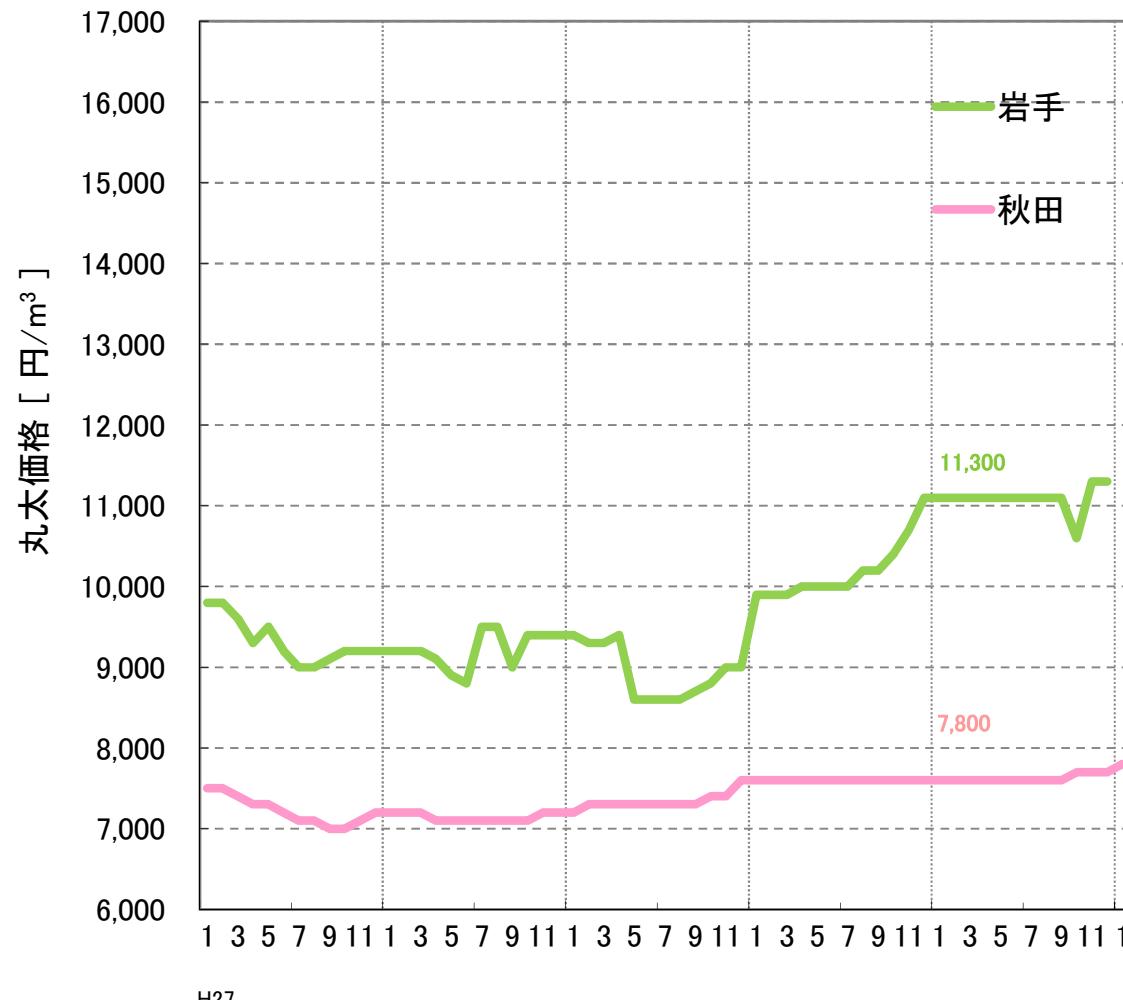
出典：農林水産省「合板統計」

※単板製造用素材の集計値は令和元年6月に、普通合板の集計値は平成31年1月及び令和元年6月に調査対象工場の見直しがあったため、その先月の数値とは接続しない。

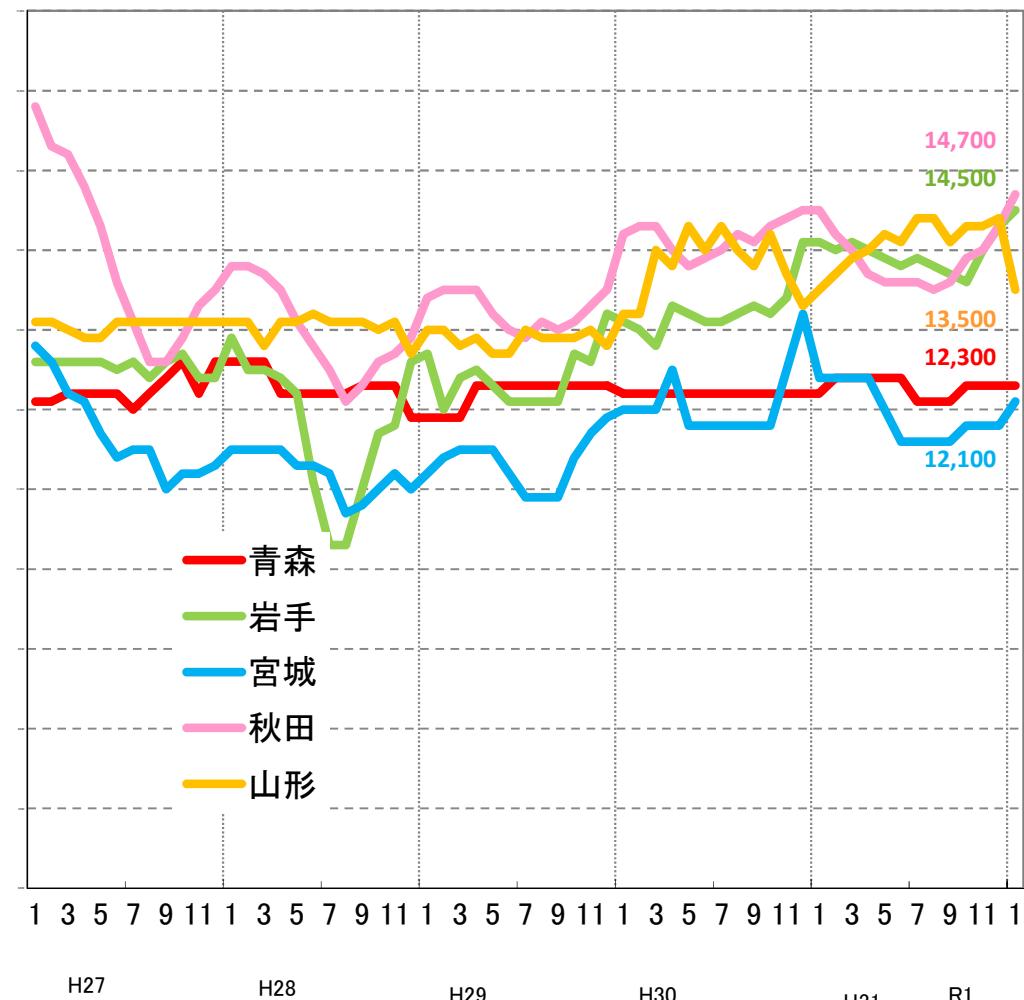
■ すぎ丸太価格の推移(平成27年1月～令和2年1月)

- すぎ小丸太価格は、岩手・秋田とも概ね保合で推移。
- すぎ中丸太価格は、岩手・宮城・秋田で強含み、青森は保合、山形は弱含みで推移。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)



すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は工場着価格。

※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

※ 岩手県のスギ小丸太価格は令和元年1月分は非公表であるため、平成27年1月～令和元年12月の値になる。

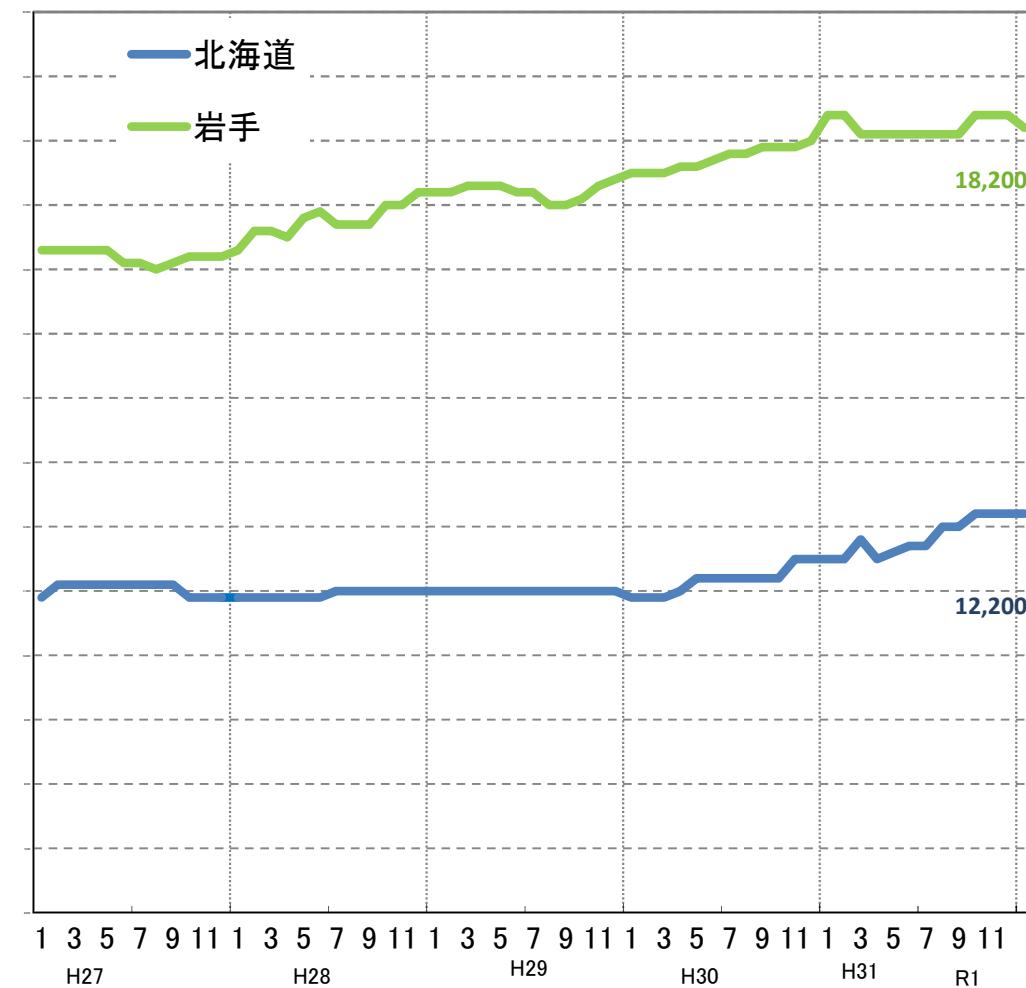
■ まつ・からまつ丸太価格の推移(平成27年1月～令和2年1月)

- まつ中丸太価格は、岩手は概ね保合で推移。
- からまつ中丸太価格は、岩手・北海道では概ね保合。北海道との価格差は6,000円。

まつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



からまつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

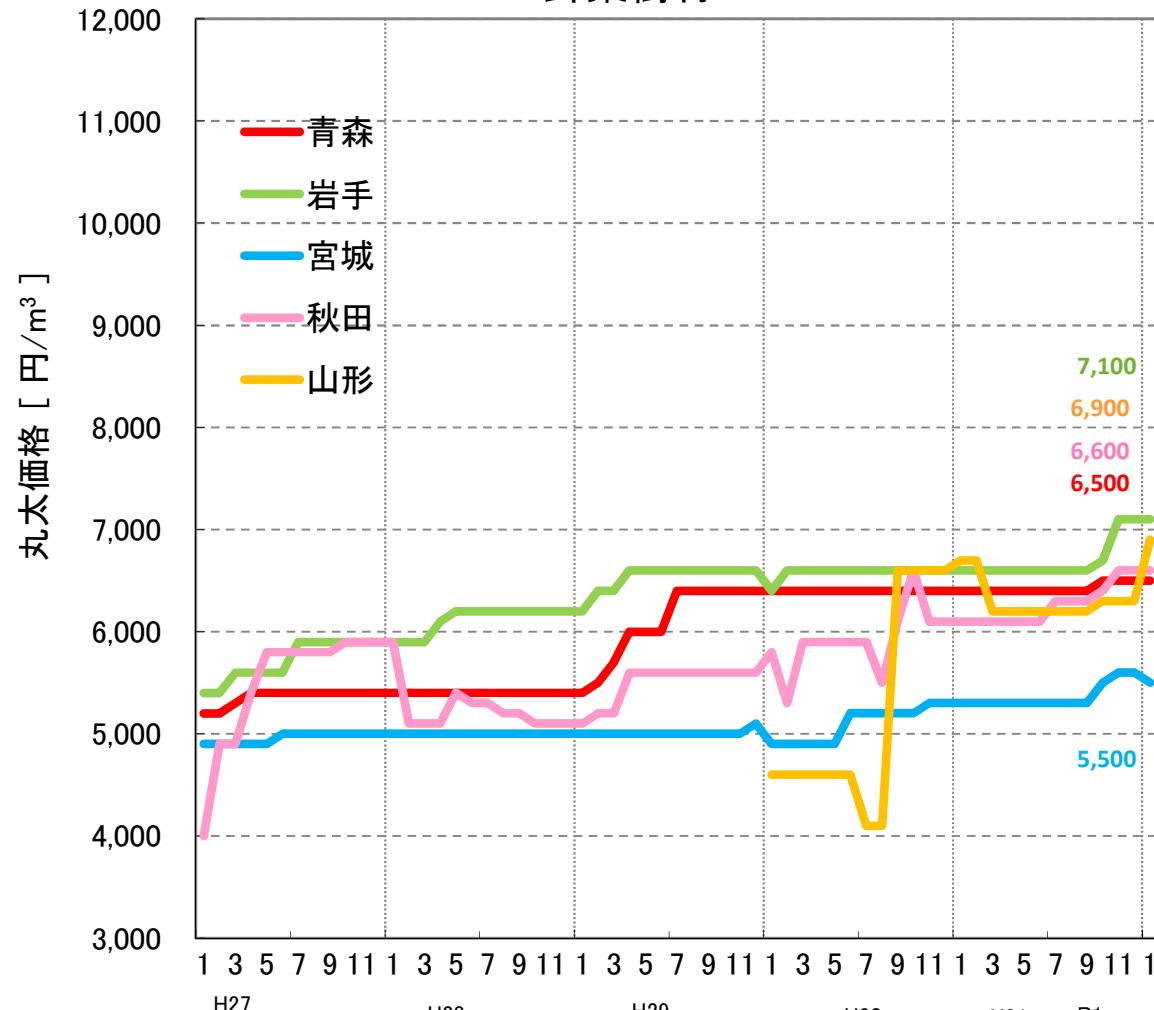
※ 価格は工場着価格。

※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

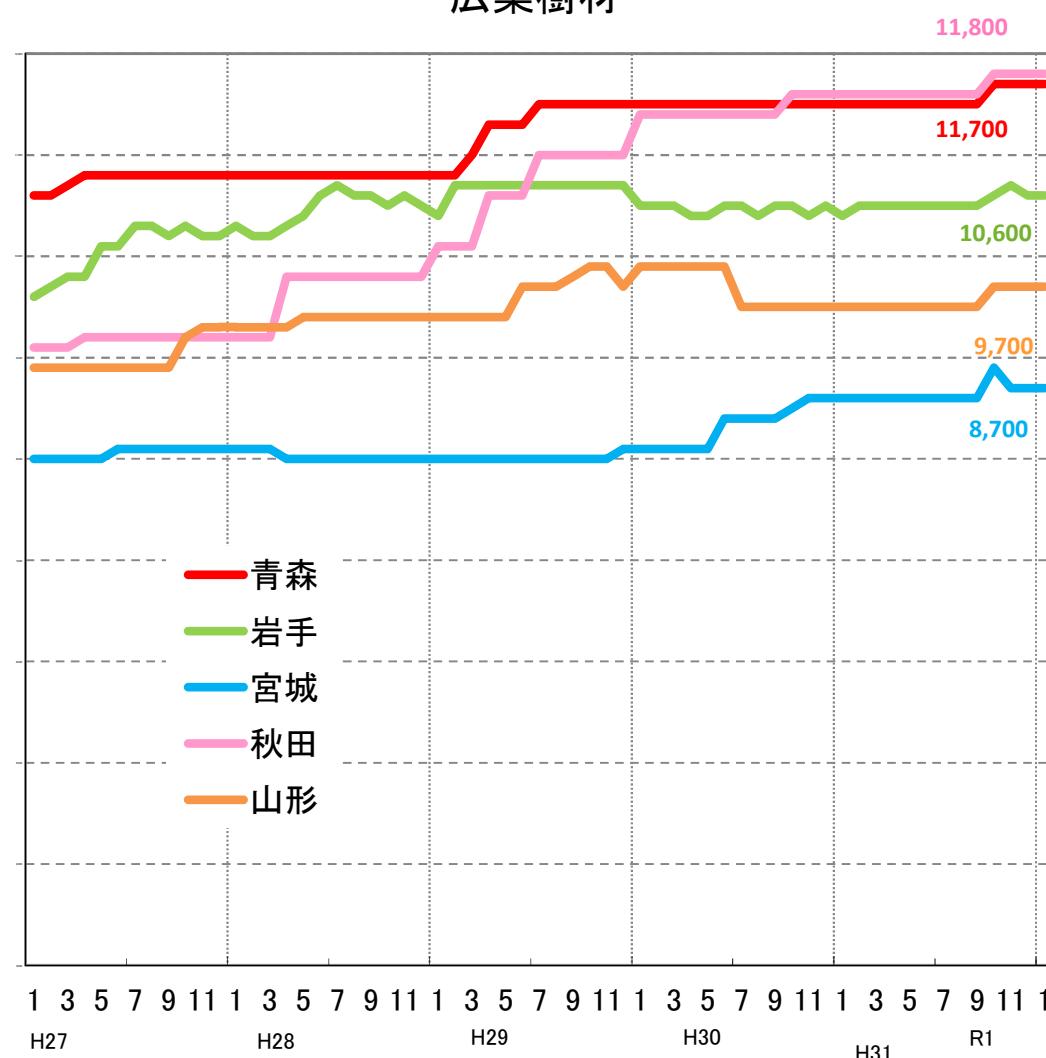
■ チップ用丸太価格の推移(平成27年1月～令和2年1月)

- 針葉樹チップ用丸太の価格は山形は強含み、青森・岩手・秋田・宮城は概ね保合で推移。
- 広葉樹チップ用丸太の価格は全県とも保合で推移。

針葉樹材



広葉樹材



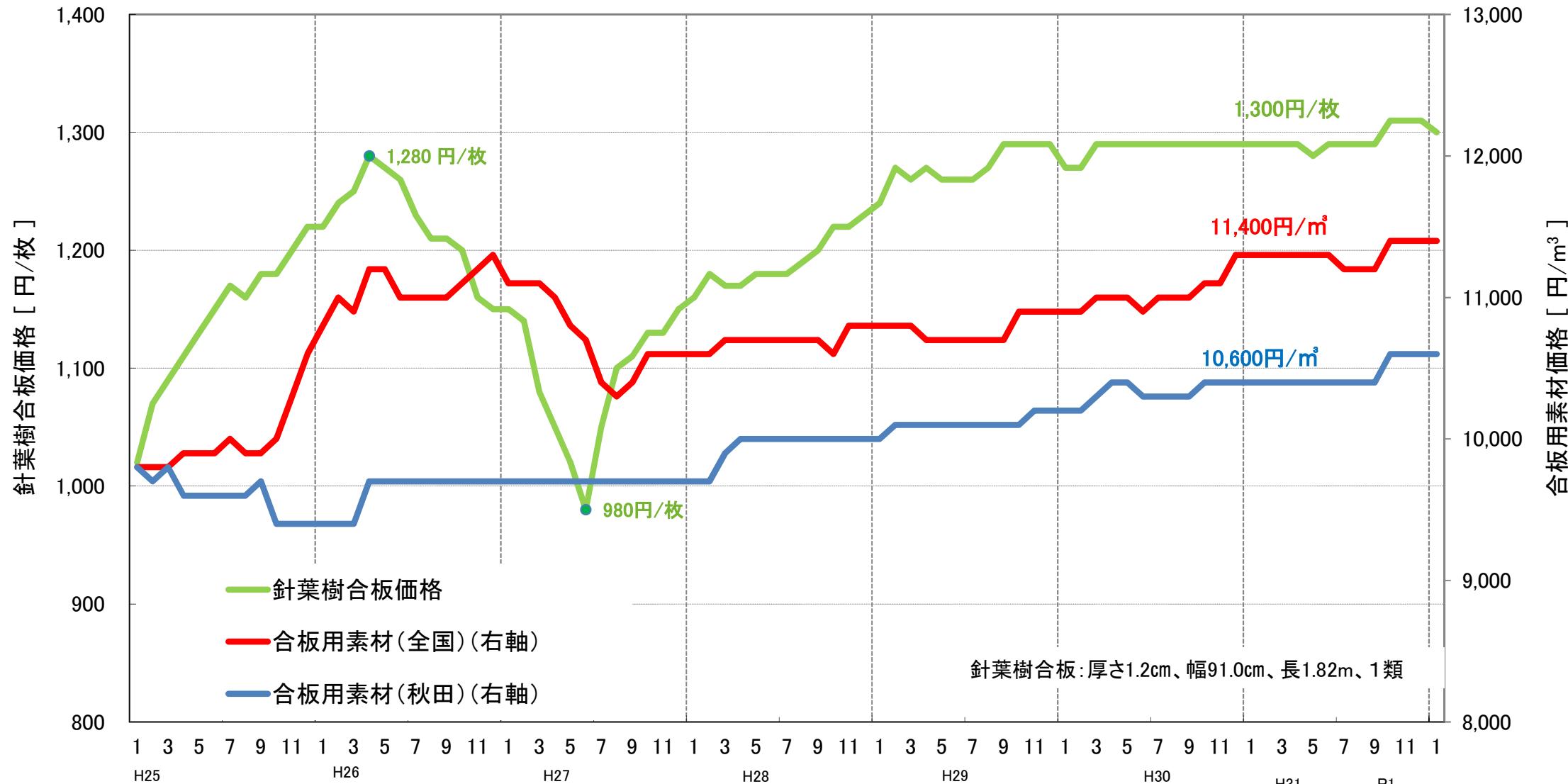
出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は工場着価格。

※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ 針葉樹合板及び合板用素材価格の推移(平成25年1月～令和2年1月)

- 針葉樹合板価格は1,300円/枚。
- 合板用素材価格は保合で推移。全国との価格差は800円。



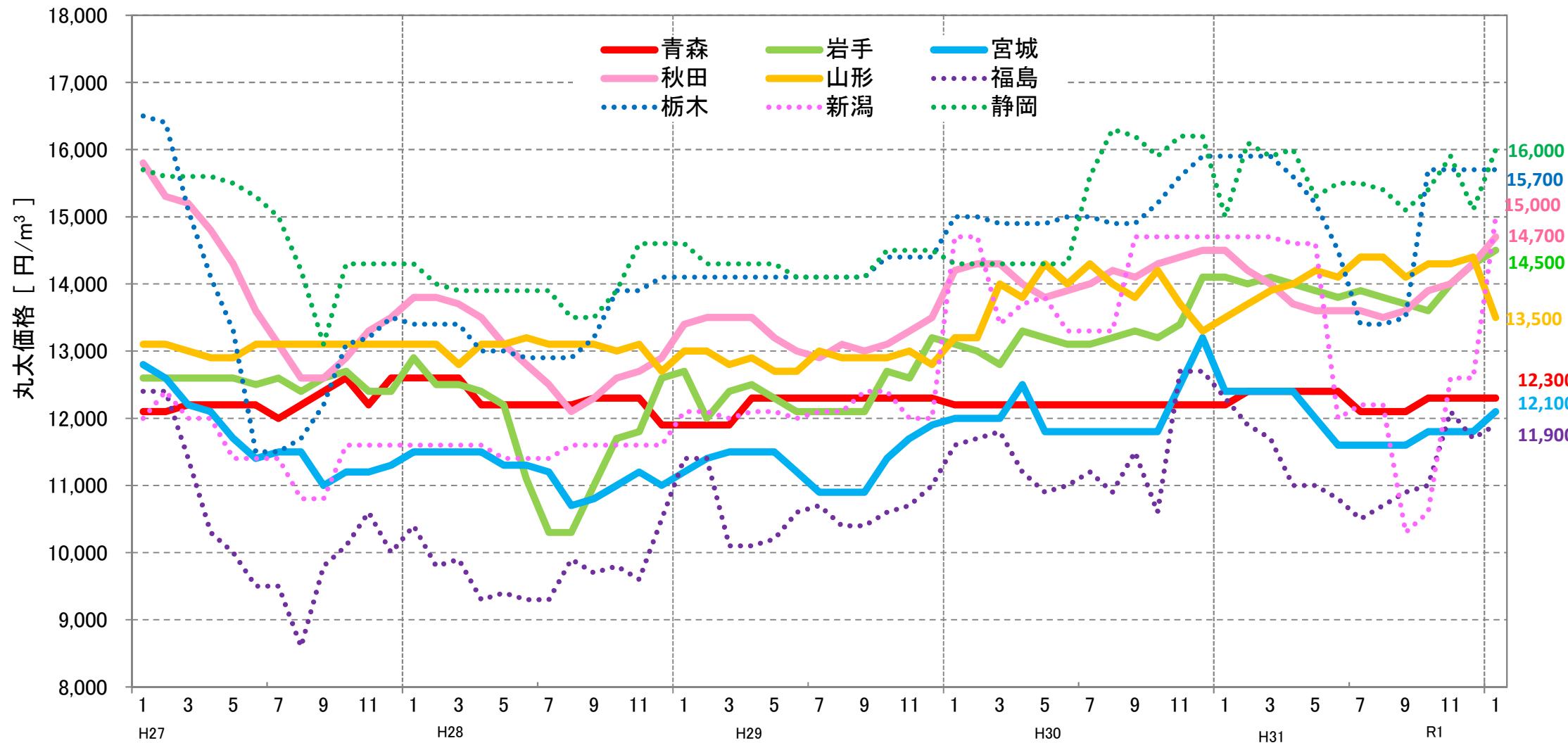
出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合板工場着購入価格である。

■ 関東地方との木材価格の比較(平成27年1月～令和2年1月)

- すぎ中丸太価格は、岩手・宮城・秋田で強含み、青森は保合、山形は弱含みで推移。
- 栃木は保合、新潟は強含みで推移。

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



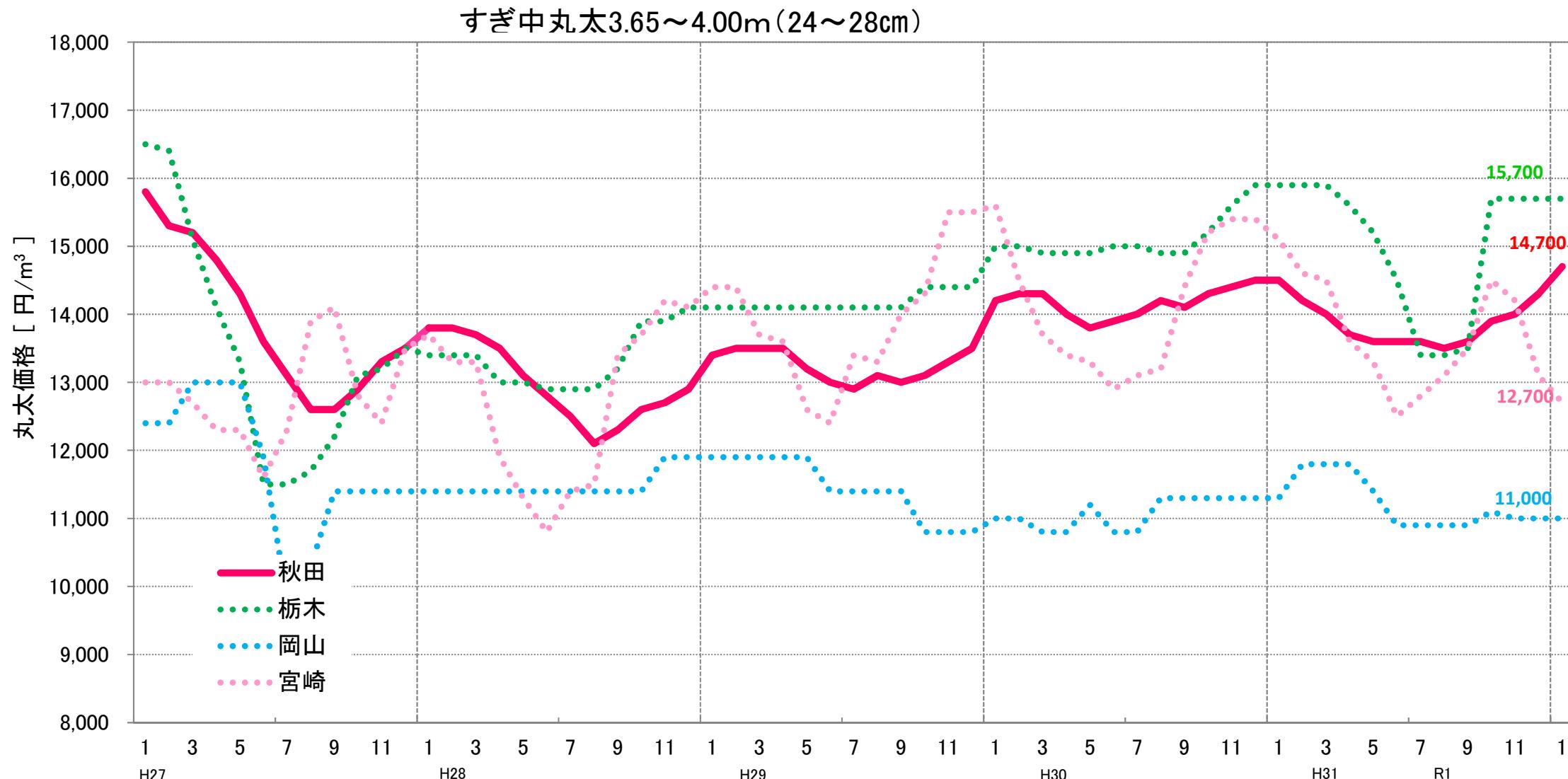
出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は工場着価格

※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較(平成27年1月～令和2年1月)

- 秋田は強含み、栃木・岡山は保合、宮崎は弱含みで推移。
 - 秋田と栃木では価格差が1,000円。



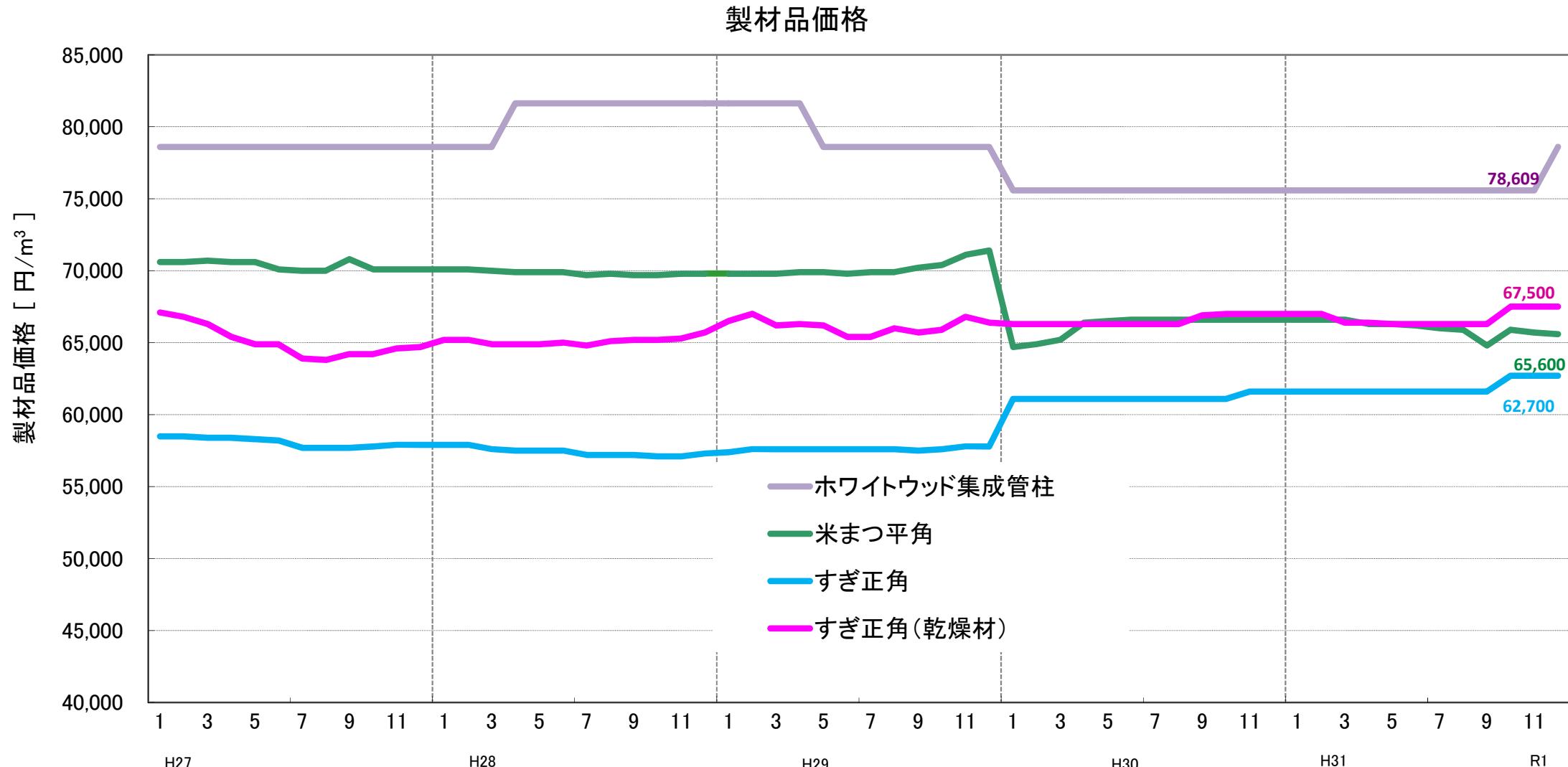
出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は工場着価格

※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ 全国の製材品主要品目価格の推移(平成27年1月～令和元年12月)

○ ホワイトウッド集成管柱は強含み、米松平角は弱含み保合、すぎ正角は保合で推移。



出典：農林水產省「木材靈給報告書」、「木材價格

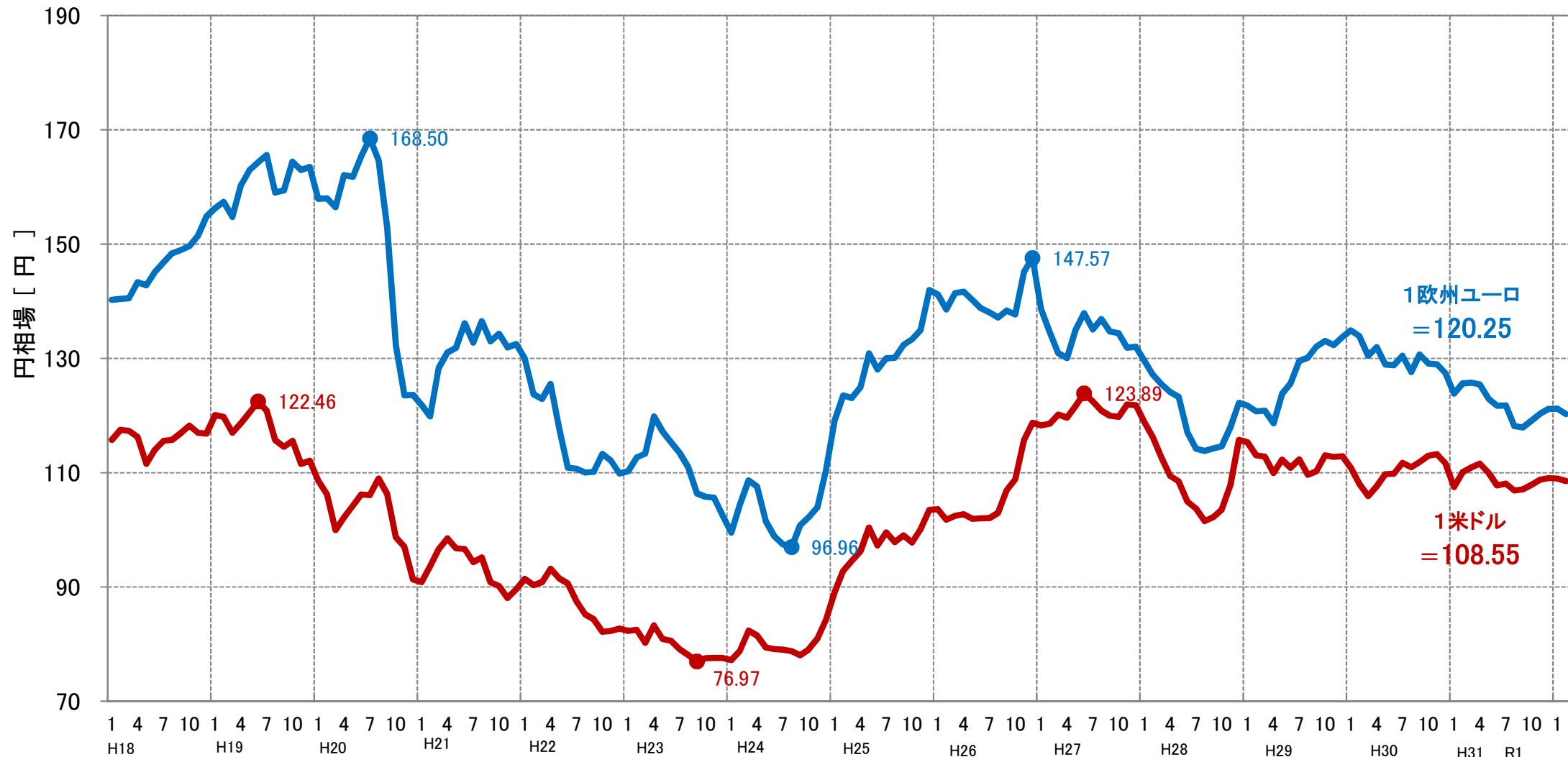
※ 価格は、木材市壱市場、木材ヤンター及び木材卸壱業者への店頭渡し価格。

平成30年1月から、調査都道府県、調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ 為替レートの推移(平成18年1月～令和2年2月4日)

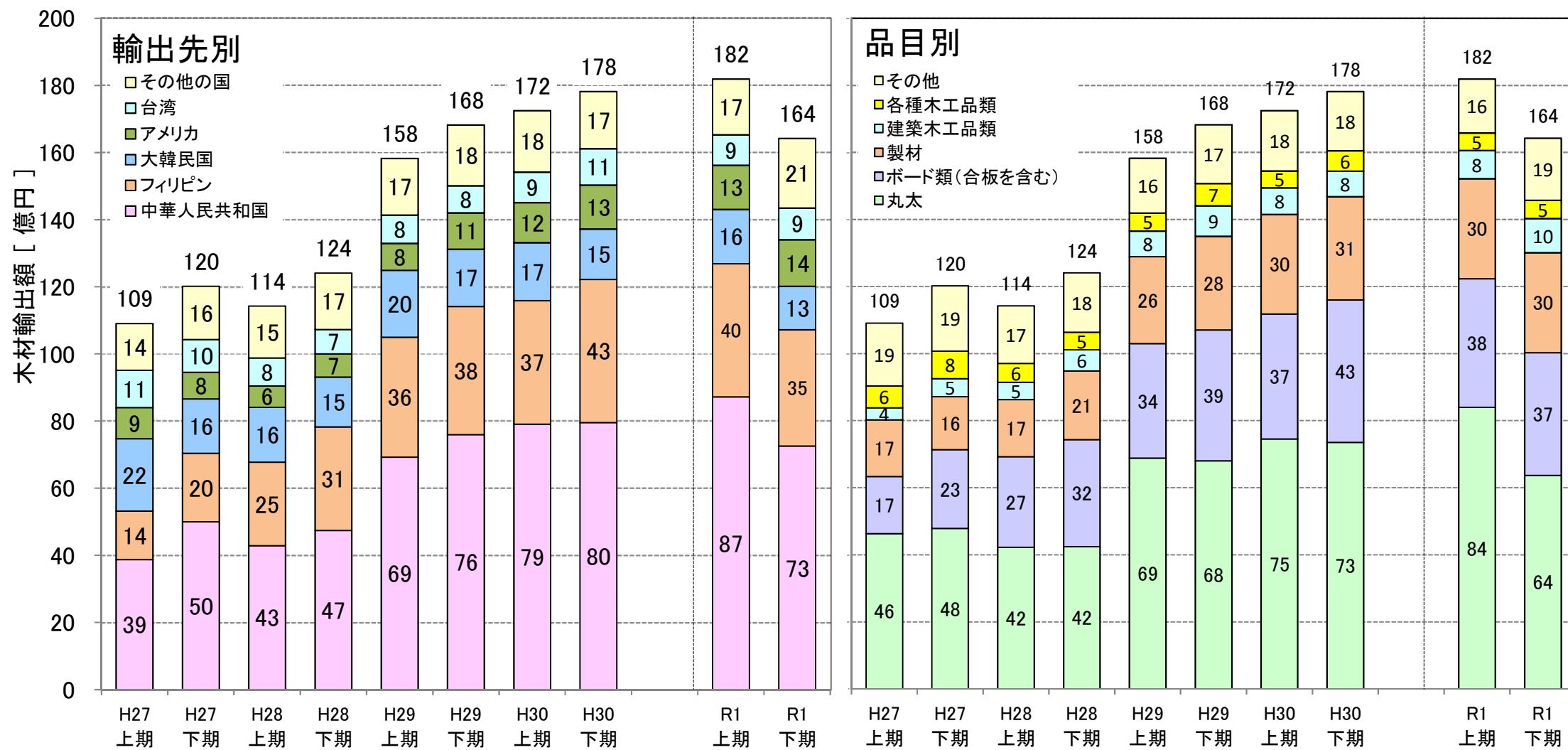
- 米ドルは、2月4日現在108円台。
- 歐州ユーロは、2月4日現在120円台。

—アメリカドル／日本円 —歐州ユーロ／日本円



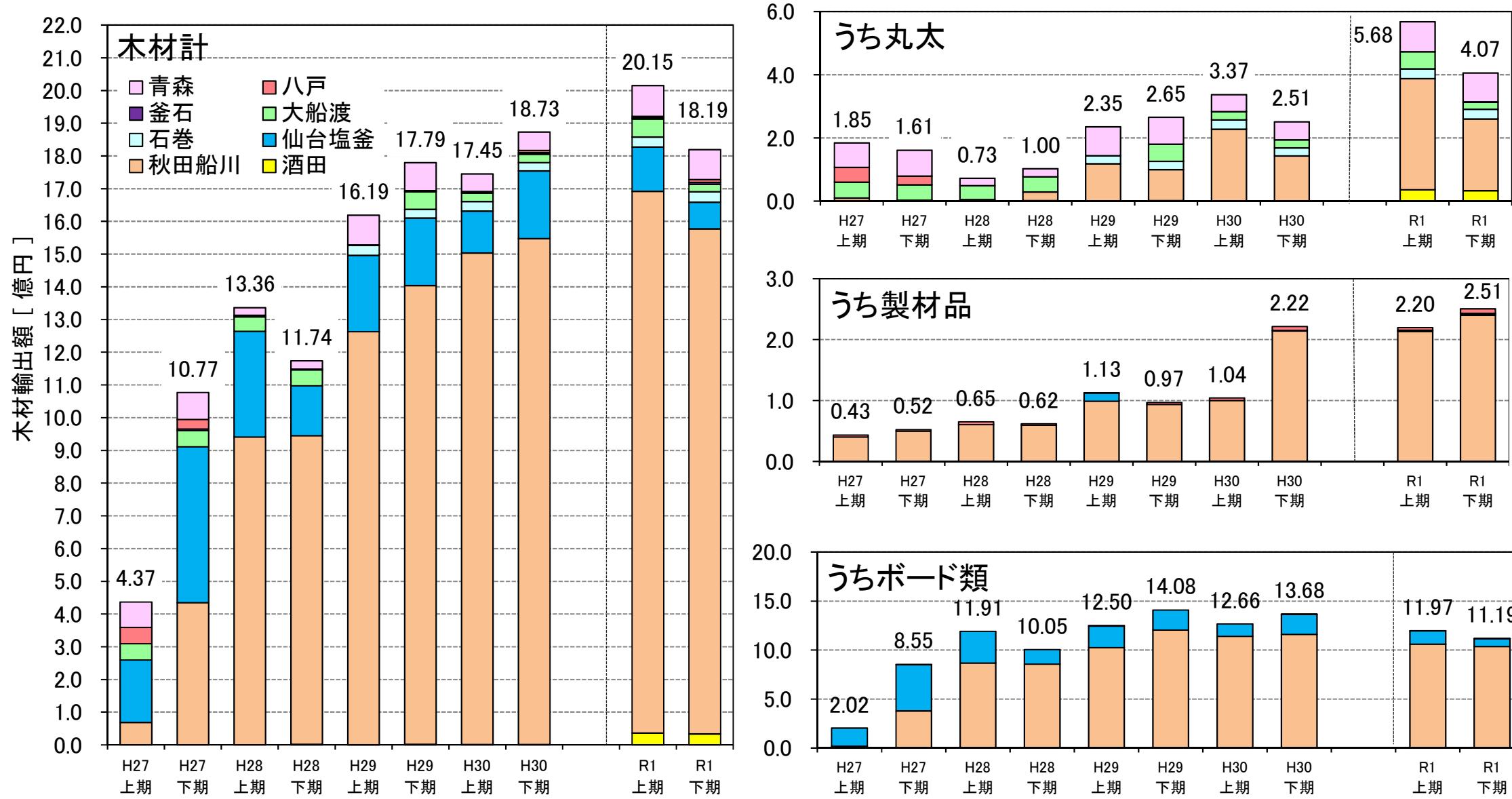
■ 輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移(全国)

- 木材輸出額は年々増加傾向にあったが、R1年下期とH30年下期を比較すると-8%となっている。
- R1年下期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では丸太が最も高く、次いでボード類、製材となっている。
- R1年下期とH30年下期を品目別に比較すると丸太-13%、ボード類-14%、製材-3%となっている。



■ 東北5県における木材輸出額の推移

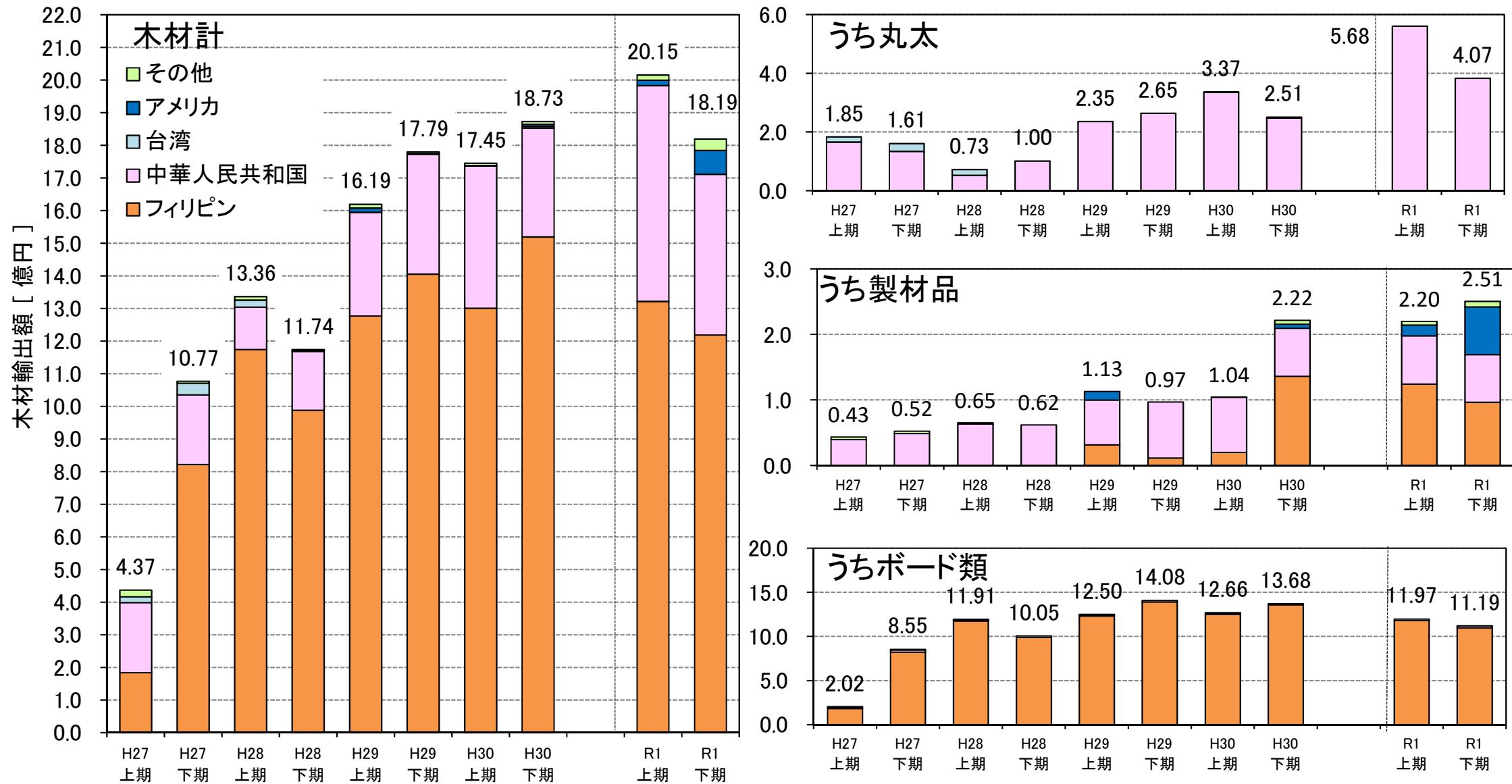
- R1年下期とH30年下期を比較すると-3%となっている。
- R1年下期とH30年下期を品目別に比較すると丸太+62%、製材+13%、ボード類-18%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

- R1年下期の主要相手国は、フィリピンが最も高く、次いで中国となっている。
- 品目別では丸太は中国が最多く、製材品、ボード類はフィリピンが最も高い。

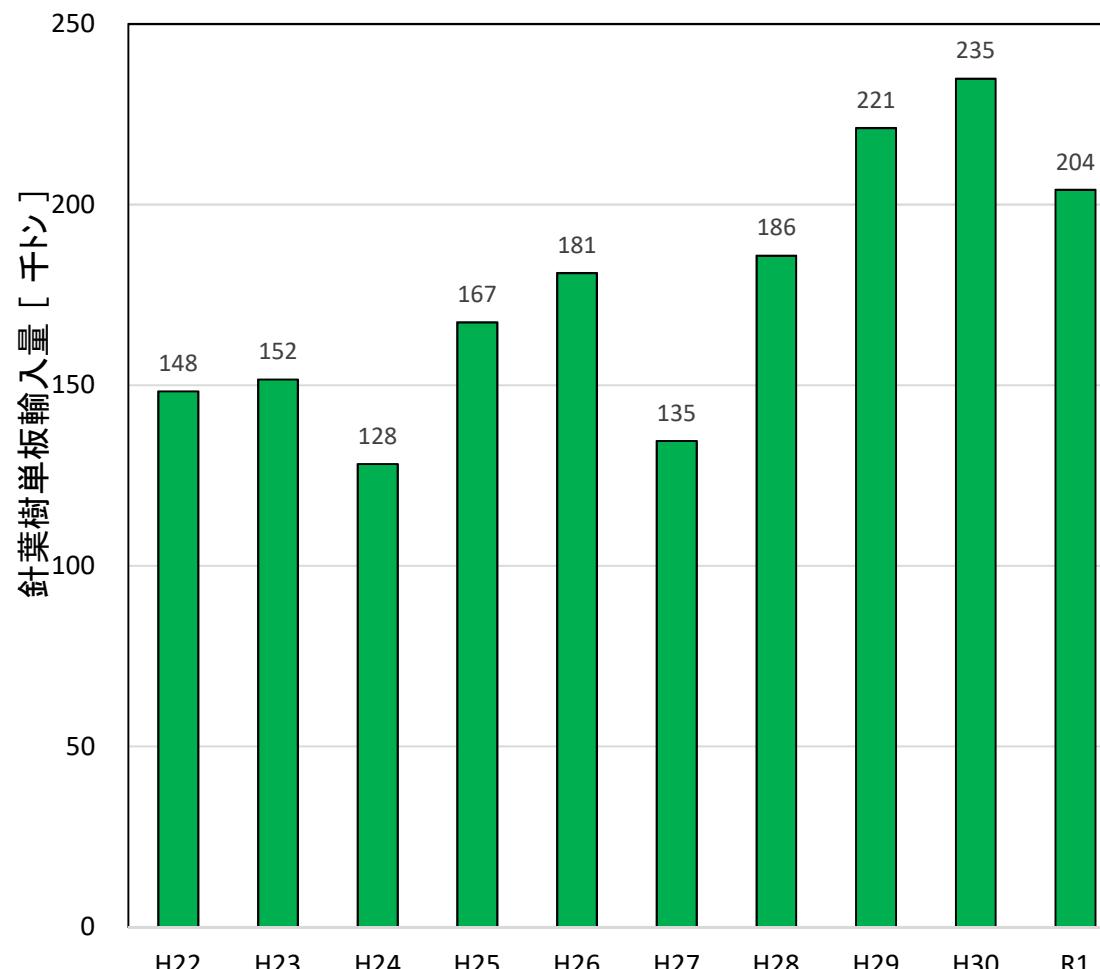


出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

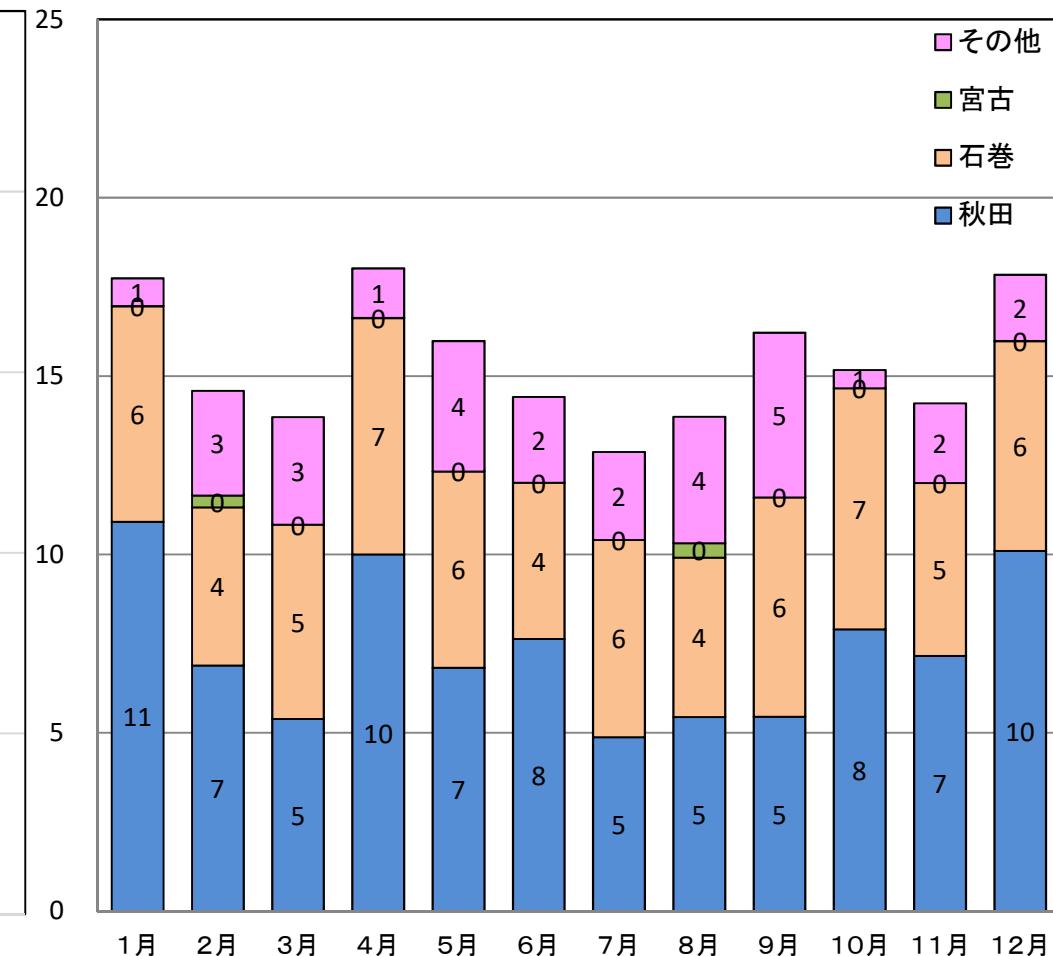
■ ロシアからの針葉樹単板輸入量の推移

- ロシアからの針葉樹単板輸入量は前年比-13%となっている。
- 2019年の港別輸入量の比率は、秋田47.9%、石巻35.8%、宮古0.4%、その他15.9%となっている。

針葉樹単板(ロシア)



2019年 月別港別輸入量



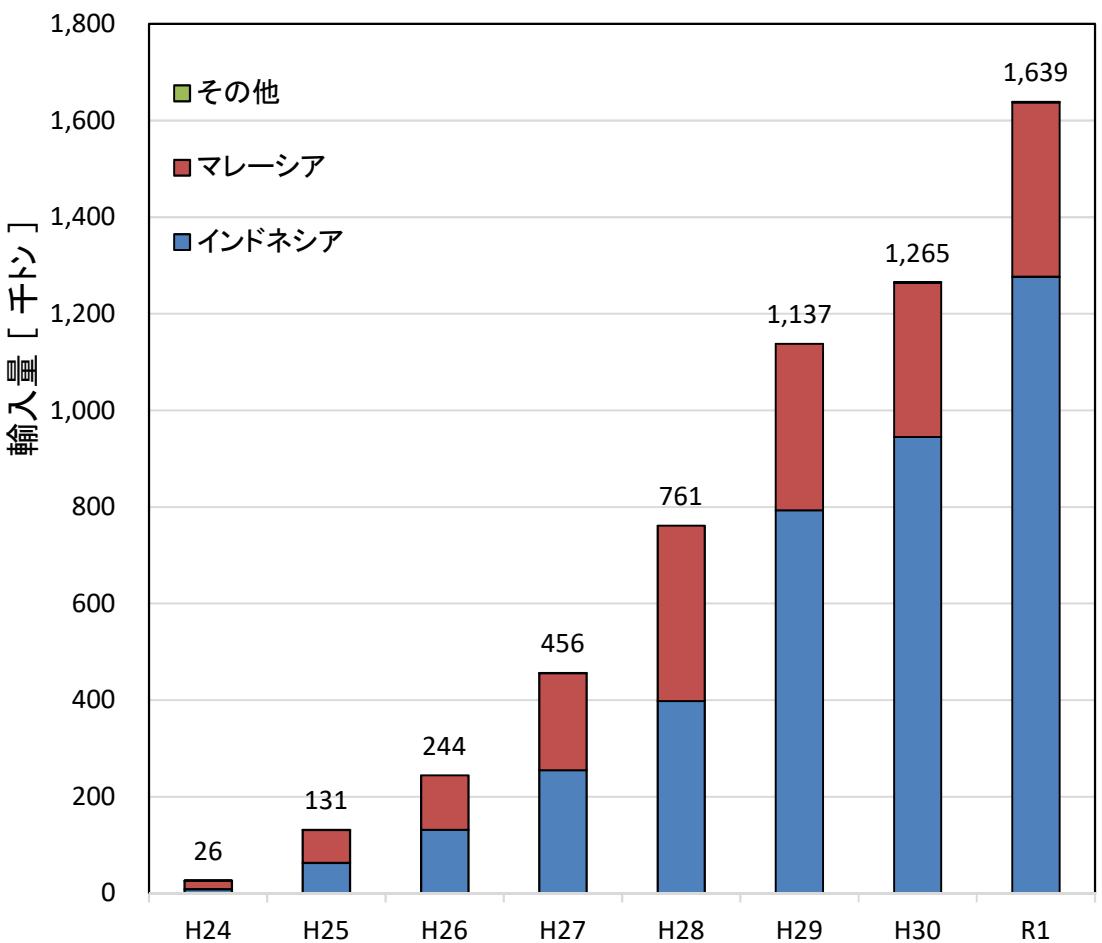
出典：財務省「貿易統計」より、左図「品別国別表」右図「統計品別国別税関別一覧表」

※前回までの資料の出典は 全て財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

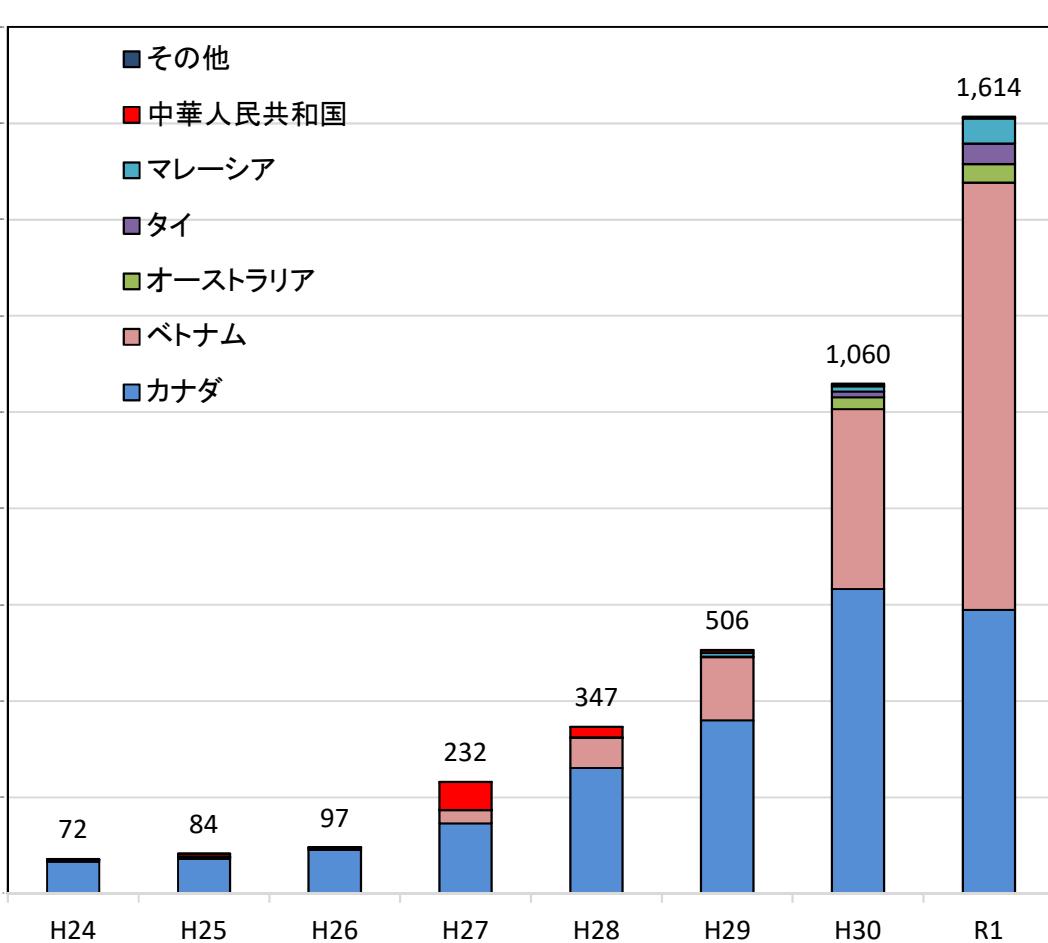
■ PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKSの年間輸入量は年々増加しており、R1年とH30年を比較すると+30%となっている。
- 主な輸入相手国はインドネシア(78%)、マレーシア(22%)となっている。
- 木質ペレットの年間輸入量は年々増加しており、R1年とH30年を比較すると+52%となっている。
- 主な輸入相手国はベトナム(55%)、カナダ(37%)となっている。

PKS



ペレット



出典：財務省「貿易統計：品別国別表」

※前回までの資料の出典は 財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」